

令和4年12月13日
教育研究・研修課

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 主旨

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として実施している。

今回、令和4年4月に実施した全国学力・学習状況調査について、令和4年9月に速報値について報告したところであるが、この度結果を分析し報告書としてまとめたので報告する。

2 調査結果

「令和4年度 全国学力・学習状況調査報告書 概要版」及び「令和4年度 全国学力・学習状況調査報告書」のとおり。

全国学力・学習状況調査報告書 概要版

調査の概要

- ◆調査日時：令和4年4月19日（火）
- ◆調査事項：①児童生徒：教科調査【国語、算数・数学、理科】、質問紙調査
②学校：質問紙調査
- ◆調査集計対象 児童・生徒数 学校数

【小学校調査】	対象学校数	学校数	(実施率)	参加児童数
世田谷区立小学校	61校	61校	(100.0%)	6,001人
【中学校調査】	対象学校数	学校数	(実施率)	参加生徒数
世田谷区立中学校	29校	29校	(100.0%)	3,524人

教科に関する調査結果概要

◆世田谷区・全国・東京都の平均正答数・平均正答率

(1) 小学校

	平均正答率		
	国語	算数	理科
世田谷区	74.0%	72.0%	69.0%
都（公立）	69.0%	67.0%	65.0%
国（公立）	65.6%	63.2%	63.3%

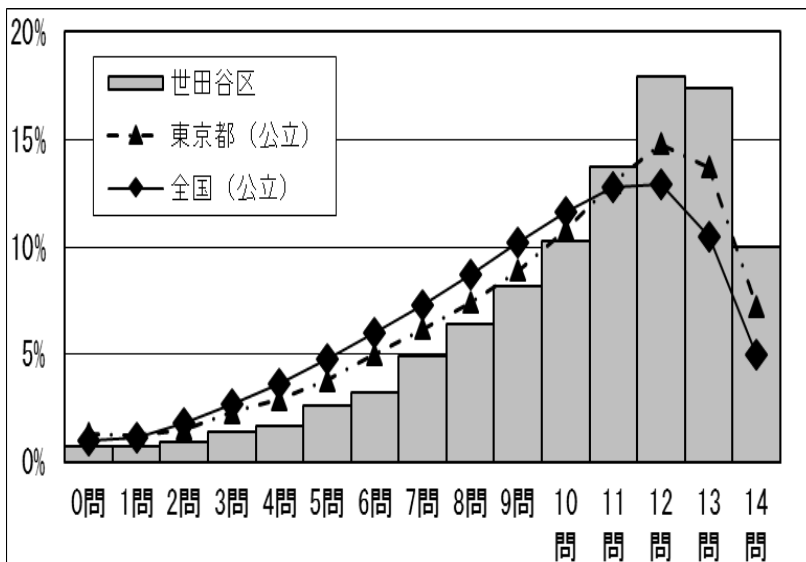
(2) 中学校

	平均正答率		
	国語	数学	理科
世田谷区	72.0%	57.0%	51.0%
都（公立）	70.0%	54.0%	51.0%
国（公立）	69.0%	51.4%	49.3%

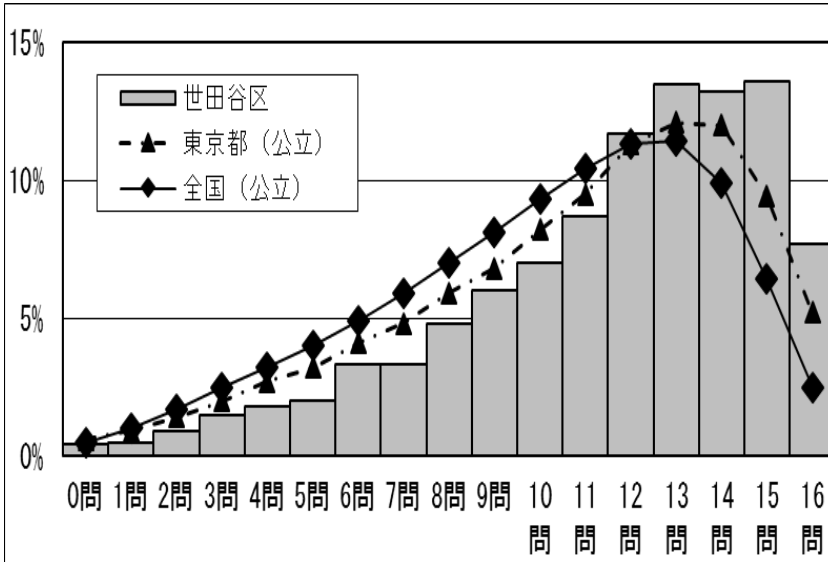
*世田谷区の平均正答率は、中学校理科を除くすべての教科において都(公立)、国(公立)よりも高い。

◆教科に関する調査結果 正答数分布グラフ（縦軸：児童の割合 横軸：正答数）

(1) 小学校国語 【報告書5ページ】

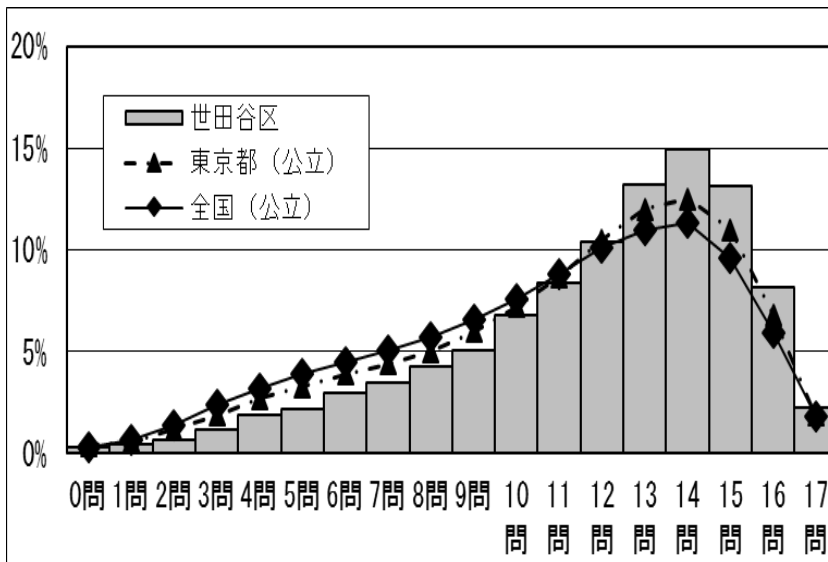


- 世田谷区の正答率は全ての問題において都（公立）、国（公立）よりも高い。
- 児童の割合が最も高くなっている正答数は、12問（全14問）である。
- 正答率の高い設問は、「話し合いの様子の一部」における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する」である。
〔区91.5%、全国85.5%〕



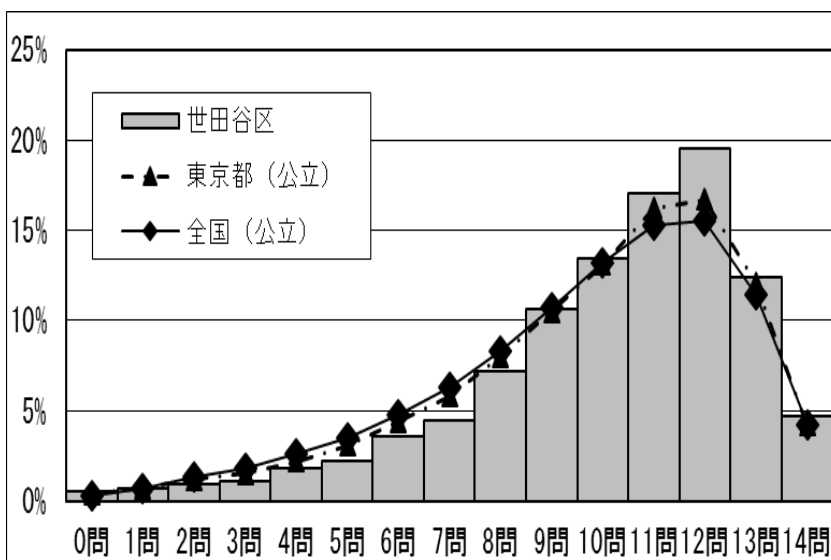
- 世田谷区の正答率は全ての問題において都 (公立)、国 (公立) よりも高い。
- 児童の割合が最も高くなっている正答数は、13問と15問 (全16問) である。
- 正答率の高い設問は、「1050×4を計算する」である。
〔区94.8%、全国92.49%〕

(3) 小学校理科 正答数分布グラフ (縦軸：児童の割合 横軸：正答数)



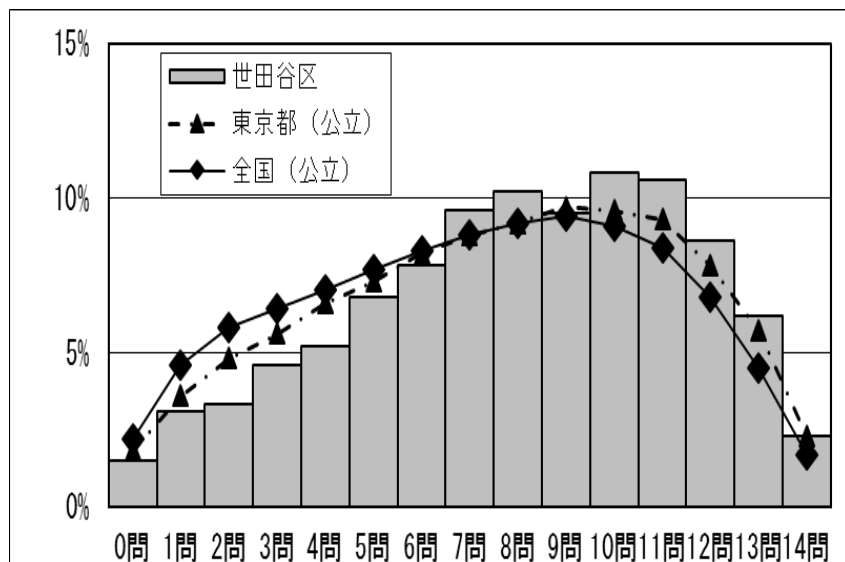
- 世田谷区の正答率は全ての問題において都 (公立)、国 (公立) よりも高い。
- 児童の割合が最も高くなっている正答数は、14問 (全17問) である。
- 正答率の高い設問は、「昆虫に関する疑問を解決するために、どのような観察を続ければよいか、適切な観察記録を選択する」である。
〔区94.9%、全国92.9%〕

(4) 中学校国語 正答数分布グラフ (縦軸：生徒の割合 横軸：正答数)



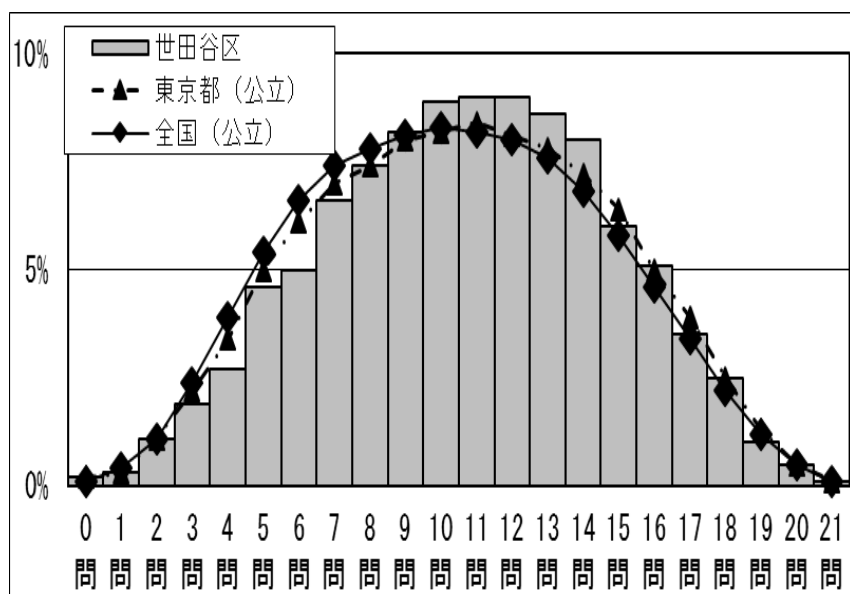
- 世田谷区の正答率は14問中、12問において都 (公立)、国 (公立) よりも高い。(都・国より低い設問：漢字を書く「よろこんで」、資料から必要な情報を引用し、意見文を書く)
- 生徒の割合が最も高くなっている正答数は、12問 (全14問) である。
- 正答率の高い設問は、「最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして、適切なものを選択する」である。
〔区91.7%、全国90.1%〕

(5) 中学校数学 正答数分布グラフ (縦軸：生徒の割合 横軸：正答数)



- 世田谷区の正答率は全ての問題において都 (公立)、国 (公立) よりも高い。
- 生徒の割合が最も高くなっている正答数は、10問 (全 14 問) である。
- 正答率の高い設問は、「同じ偶数の和である $2n+2n=4n$ について、 n が 9 のとき、どのような計算をあらわしているかを書く」である。
〔区 82.6%、全国 73.8%〕

(6) 中学校理科 正答数分布グラフ (縦軸：生徒の割合 横軸：正答数)



- 世田谷区の正答率は 21 問中、17 問において都 (公立)、国 (公立) よりも高い。(都・国より低い設問：天気図の読み取り、水素燃焼の化学反応式をかき、実験の考察、岩石に関する知識を問う)
- 生徒の割合が最も高くなっている正答数は、11 問と 12 問 (全 21 問) である。
- 正答率の高い設問は、「タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組合せを選択する」である。〔区 79%、全国 78.5%〕

◆ 正答率下位の質問について 【報告書 33~44 ページ】

小学校国語：出題にある作文の書き方のよさを捉え、そのよさを作文の言葉を用いて、60 字以上、100 字以内にまとめて書く (区 44.8% 全国 37.7%)

小学校算数：果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ (区 35.9% 全国 21.4%)

小学校理科：光の性質を基に、鏡を操作して指定した的に反射させた日光を当てることができるのは、だれかを選ぶ (区 28.7% 全国 27.8%)

中学校国語：行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして、適切なものを選択する (区 40.7% 全国 39.4)

中学校数学：問題に記載の図形の $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることを説明する (区 20.2% 全国 12.5%)

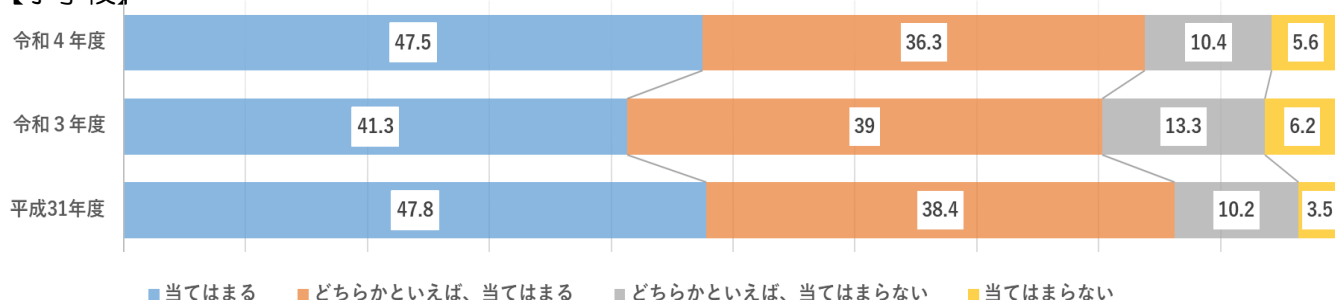
中学校理科：おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する (区 18.7% 全国 15.3%)

質問紙調査結果（概要）

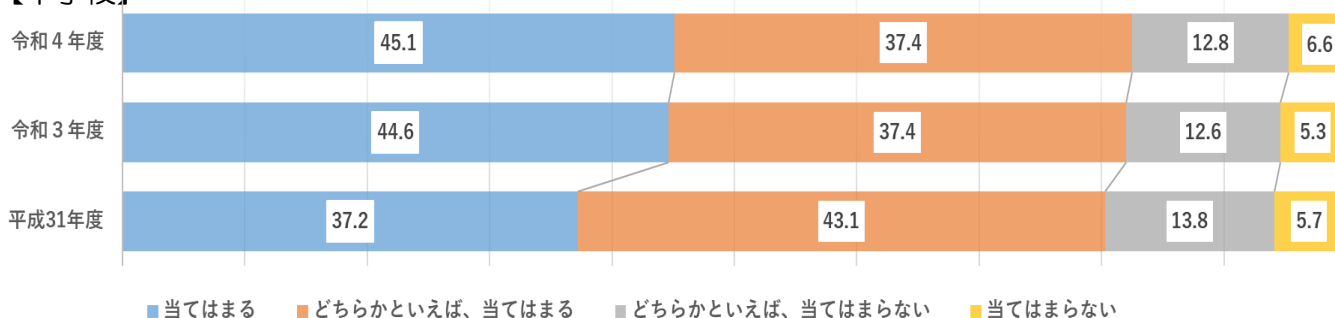
キャリア・未来デザイン教育に関する視点

★自分には、よいところがあると思いますか【報告書 19 ページ】

【小学校】



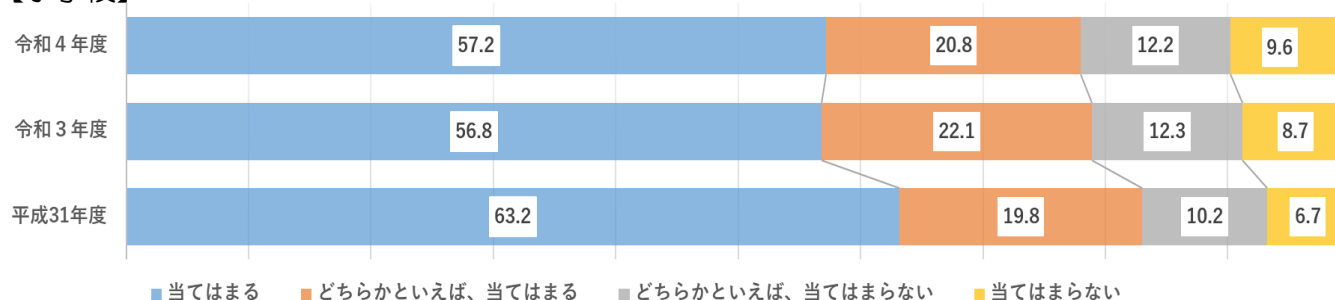
【中学校】



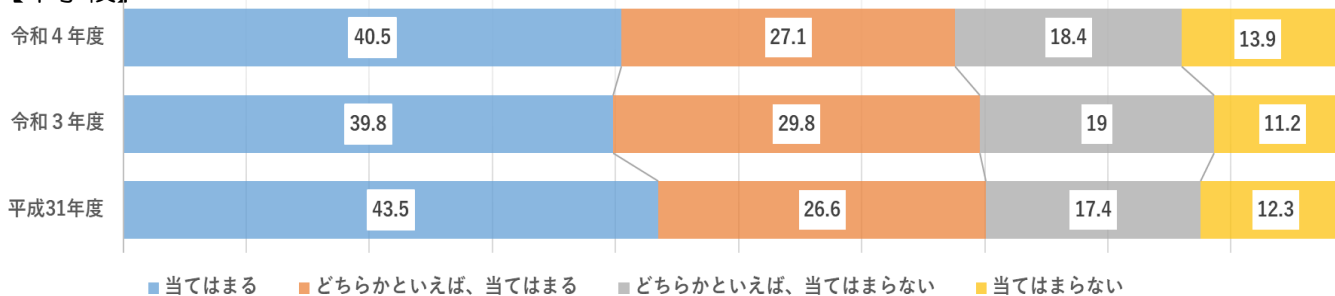
「自分には、よいところがあると思いますか」との質問に肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小学校 83.8%、中学校 82.5%で高い傾向が見られる。（全国：小学校 79.3%、中学校 78.5%）

★将来の夢や目標をもっていますか【報告書 21 ページ】

【小学校】



【中学校】

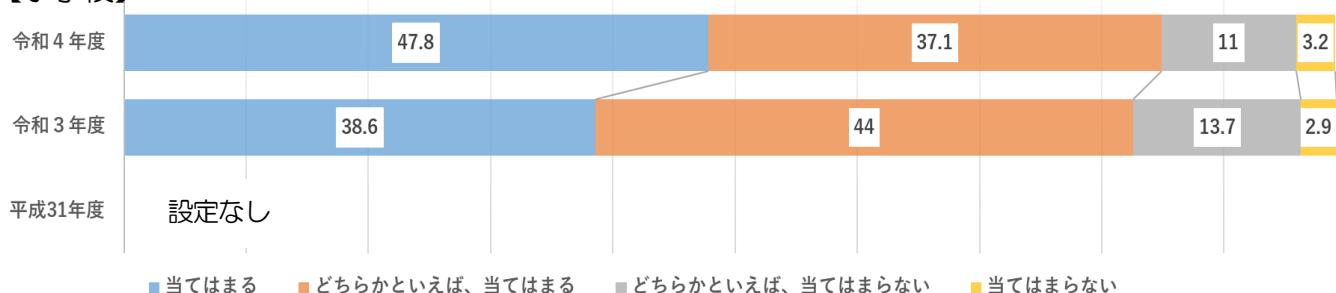


「将来の夢や希望を持っていますか」との質問に肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小学校 78.0%、中学校 67.6%であり、全国の数値（全国：小学校 79.8%、中学校 78.5%）と比べて低い結果となった。一方で、今年度、質問に「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合は増えた。

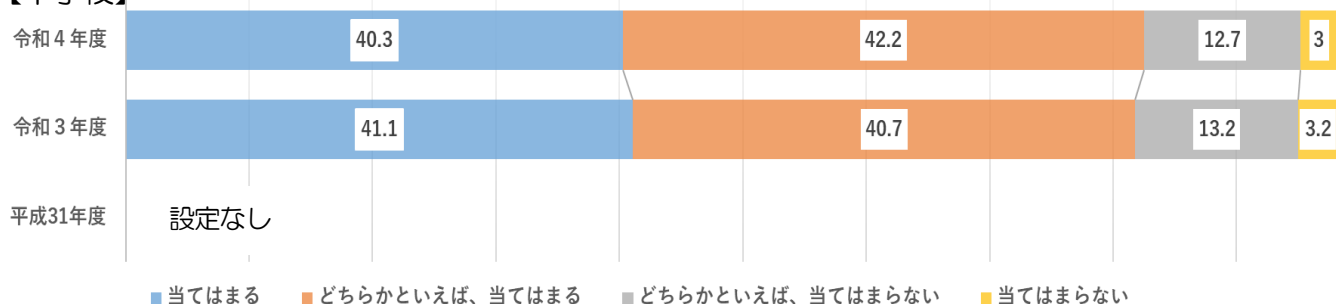
せたがや探究的な学びに関する視点

★学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか【報告書23ページ】

【小学校】



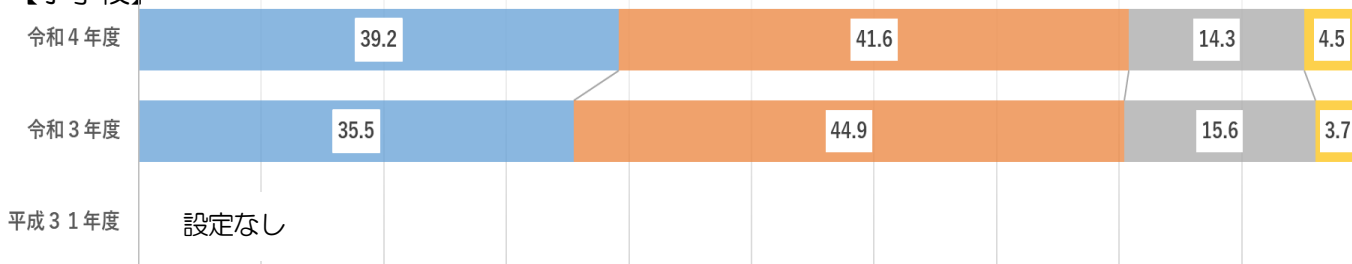
【中学校】



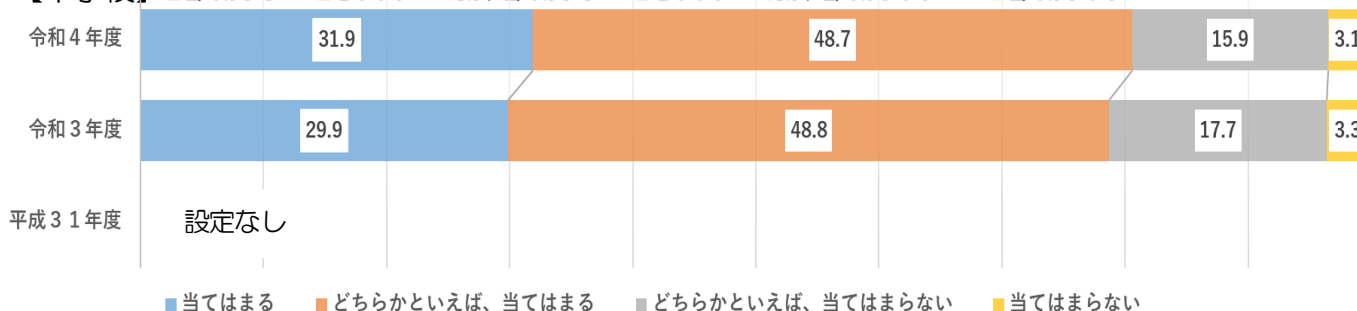
「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」との質問に、肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小学校 84.9%、中学校 82.5%で高い傾向が見られる。（全国：小学校 80.1%、中学校 78.7%）

★学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか【報告書24ページ】

【小学校】



【中学校】

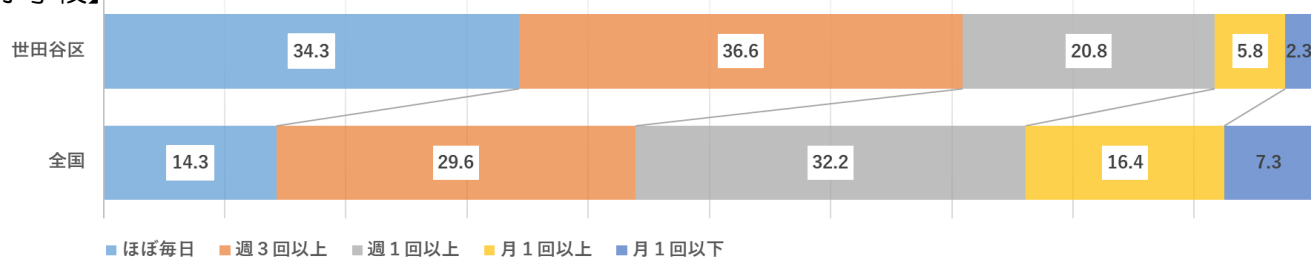


「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」との質問に、肯定的に回答した児童・生徒の割合は、小学校 80.8%、中学校 80.6%で高い傾向にある。（全国：小学校 78.2%、中学校 74.7%）

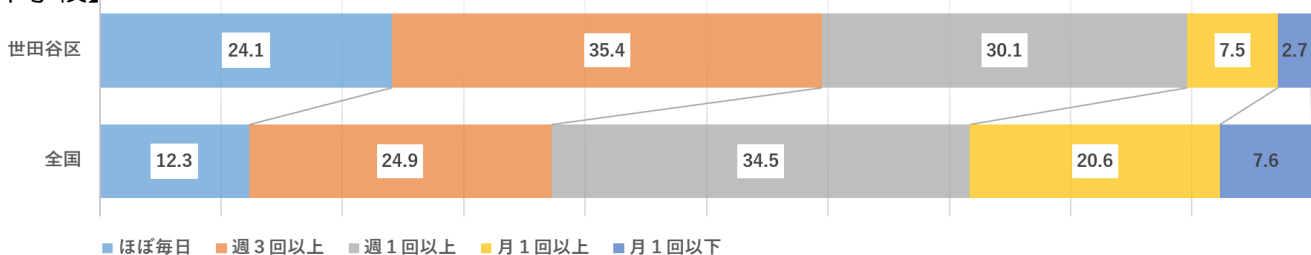
ICTを活用した学習の視点

★学校で授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか【報告書 25 ページ】 ※令和4年度調査のみ

【小学校】



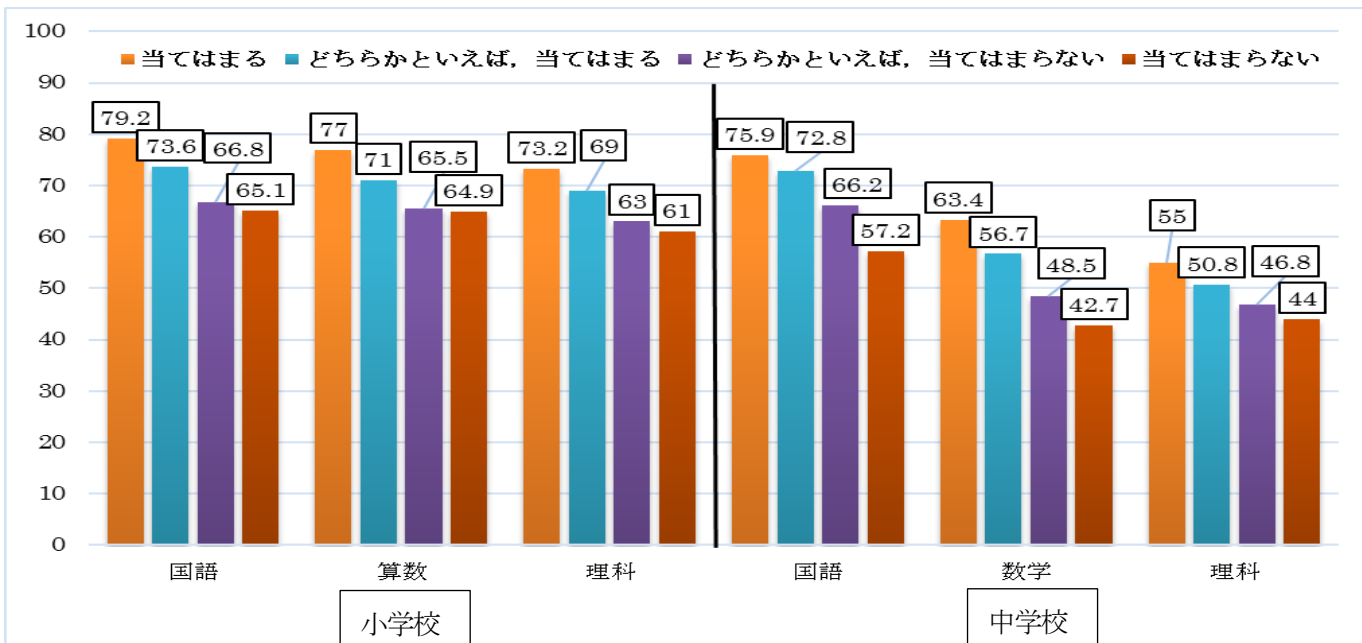
【中学校】




「学校で授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか」との質問に、「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した児童・生徒の割合は、小学校 70.9%、中学校 59.5%であり、全国と比べて高い傾向にある。（全国：小学校 43.9%、中学校 37.2%）

クロス集計結果より（主体的な学習習慣 × 各教科の平均正答率）

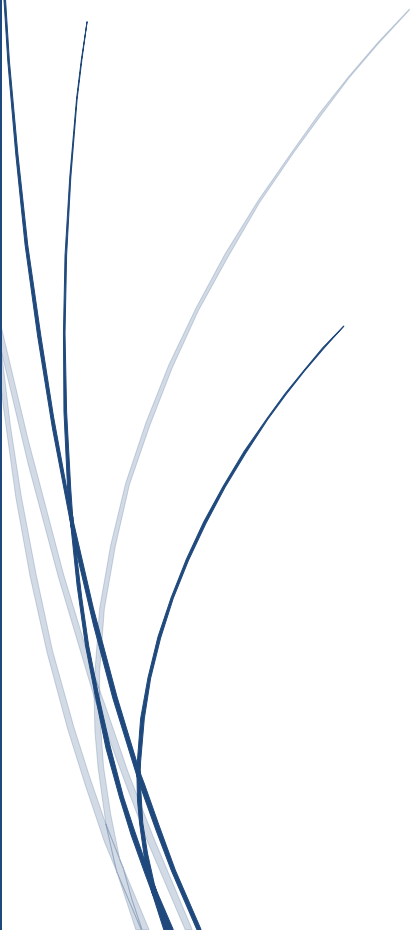
★学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか【報告書 37 ページ】



「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」との質問に、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童・生徒は、「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童・生徒と比べて各教科の平均正答率が高い傾向にある。



令和4年度全国学力・学習状況調査 の結果及び調査結果の活用について



令和4年12月
世田谷区教育委員会

— 目 次 —

1	調査概要	- 3 -
2	教科に関する調査結果概要	- 4 -
- 1	教科に関する調査結果	
	小学校 国語	- 5 -
	小学校 算数	- 7 -
	小学校 理科	- 9 -
	中学校 国語	- 11 -
	中学校 数学	- 13 -
	中学校 理科	- 15 -
- 2	無解答率10%以上の問題について	- 17 -
3	質問紙調査結果（児童・生徒、学校）	
- 1	キャリア教育に関する視点から	- 18 -
- 2	「せたがや探究的な学び」に関する視点から	- 22 -
- 3	ICTを活用した学習の視点から	- 25 -
- 4	その他	- 26 -
- 5	「児童・生徒質問紙調査一覧」	- 27 -
4	クロス集計結果より	- 33 -
5	参考資料（関連問題文）	- 37 -

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果

世田谷区教育委員会

1 調査概要

◆調査日時：令和4年4月19日（火）

◆調査事項：①児童・生徒：教科調査〔国語、算数・数学、理科〕、質問紙調査
②学校：質問紙調査

◆調査対象及び集計対象 児童・生徒数・学校数：

小学校調査	調査対象 児童数	集計対象 児童数※1	調査対象 学校数	集計対象 学校数
世田谷区立小学校	6,314人	6,001人	61校	61校 (100.0%)
公立学校	1,038,101人	965,761人	18,805校	18,671校 (99.3%)
国立学校	6,498人	6,097人	75校	73校 (97.3%)
私立学校	13,061人	6,253人	242校	123校 (50.8%)
合計	1,057,660人	978,111人	19,122校	18,867校 (98.7%)

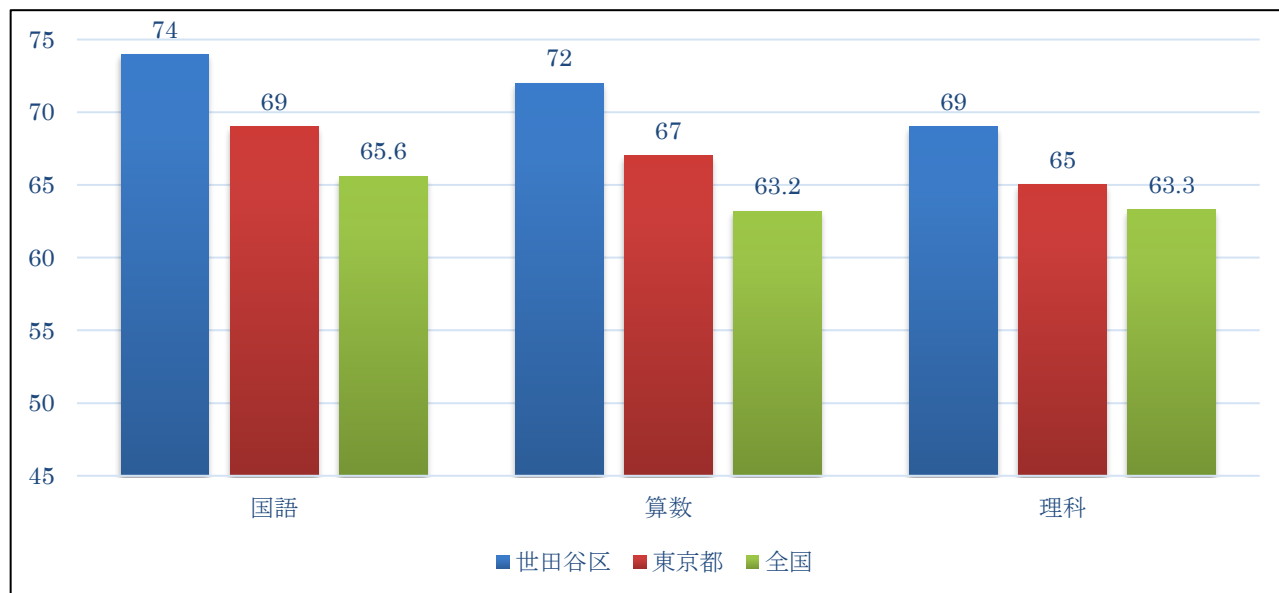
中学校調査	調査対象 生徒数	集計対象 生徒数	調査対象 学校数	集計対象 学校数
世田谷区立中学校	3,914人	3,524人	29校	29校 (100.0%)
公立学校	994,935人	892,585人	9,437校	9,348校 (99.1%)
国立学校	10,128人	9,640人	80校	80校 (100.0%)
私立学校	82,226人	26,284人	765校	334校 (43.7%)
合計	1,087,289人	928,509人	10,282校	9,762校 (94.9%)

※1 集計対象児童・生徒数は、4月19日に調査を実施した数。集計対象児童・生徒数は、回収した解答用紙が最も多かった教科の解答用紙の枚数で算出

2 教科に関する調査結果概要

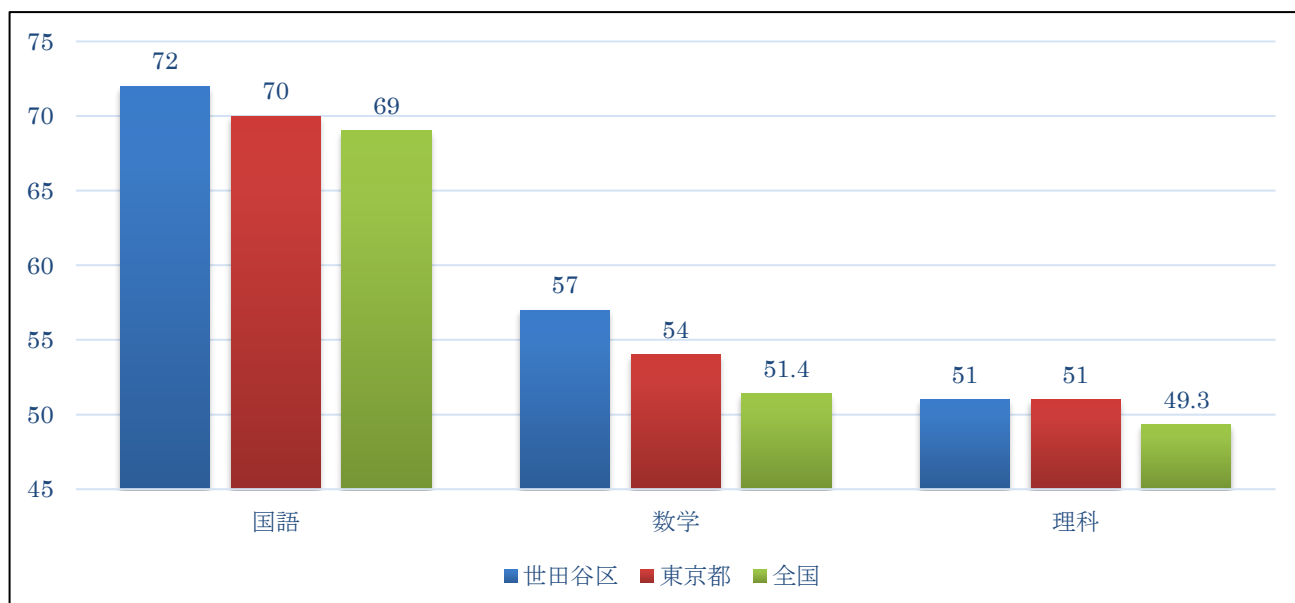
(1) 小学校 平均正答率

	平均正答率 (%)		
	国 語	算 数	理 科
世 田 谷 区	74.0	72.0	69.0
東京都 (公立)	69.0	67.0	65.0
全 国 (公立)	65.6	63.2	63.3



(2) 中学校 平均正答率

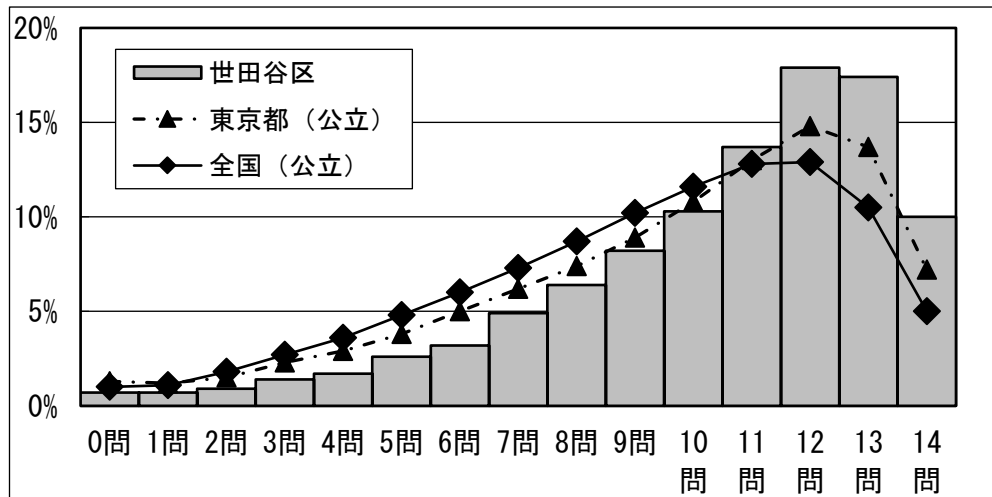
	平均正答率 (%)		
	国 語	数 学	理 科
世 田 谷 区	72.0	57.0	51.0
東京都 (公立)	70.0	54.0	51.0
全 国 (公立)	69.0	51.4	49.3



－ 1 教科に関する調査結果

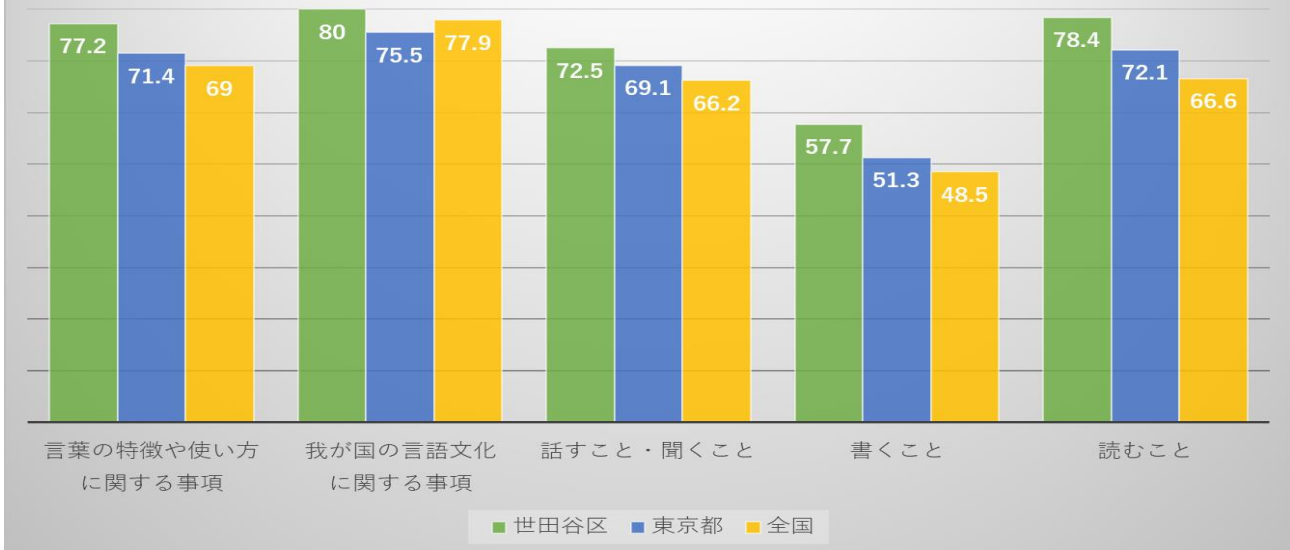
小学校 国語

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：児童の割合）



問題番号	問題の概要	正答率 (%)			無解答率 (%)		
		貴教育委員会	東京都 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	東京都 (公立)	全国 (公立)
1一	【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する	91.5	88.2	85.5	0.9	1.5	0.9
1二	【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する	74.8	71.5	68.8	1.0	1.6	1.0
1三	【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する	90.4	87.1	84.7	0.9	1.6	1.0
1四	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 <input type="text"/> でどのように話すかを書く	54.7	51.1	47.7	2.5	3.4	3.0
2一(1)	「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを選択する	79.6	73.9	68.4	0.9	1.6	1.0
2一(2)	「老人」が未来の「ぼく」だと考えられるところとして適切なものを選択する	84.6	77.7	70.6	1.4	2.4	1.6
2二	物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の <input type="text"/> A <input type="text"/> に入る内容を書く	77.4	71.7	68.3	10.9	13.9	12.2
2三	【山村さんの文章】の <input type="text"/> B <input type="text"/> に入る内容として適切なものを選択する	72.1	65.1	59.2	2.5	4.4	3.2
3一	【文章2】の <input type="text"/> C <input type="text"/> の部分を、どのようなことに気を付けて書いたのか、適切なものを選択する	70.7	63.6	59.2	2.4	4.1	2.5
3二	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く	44.8	39.0	37.7	11.8	17.4	14.5
3三ア	【文章2】の中の <input type="text"/> D <input type="text"/> 部アを、漢字を使って書き直す（ <u>ろくが</u> ）	73.9	67.5	65.2	7.4	10.8	8.1
3三イ	【文章2】の中の <input type="text"/> E <input type="text"/> 部イを、漢字を使って書き直す（ <u>はんせい</u> ）	70.9	61.9	58.7	9.2	13.3	10.2
3三ウ	【文章2】の中の <input type="text"/> F <input type="text"/> 部ウを、漢字を使って書き直す（ <u>したしむ</u> ）	74.9	67.8	67.1	13.4	18.5	14.7
3四	(一)から(二)に書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する	80.0	75.5	77.9	5.6	9.0	5.9

内容別平均正答率



正答率上位2問

- 【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する
<1一> 91.5% (全国: 85.5%)
- 【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する
<1三> 90.4% (全国: 84.7%)

正答率下位2問

- 【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く
<3二> 44.8% (全国: 37.7%)
- 「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、
でどのように話すかを書く <1四> 54.7% (全国: 47.7%)

<調査結果のポイント>

- 平均正答率が 74% で、すべての内容において、平均正答率は全国・東京都より高い。

<正答率下位の設問> 問題文は、38・39ページ参照

◆出題の趣旨

文章全体の構成に着目して文章を整えたり、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けたりすることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等B 書くこと

ウ事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分にとっての意味について文章に書く活動。

<指導改善のポイント>

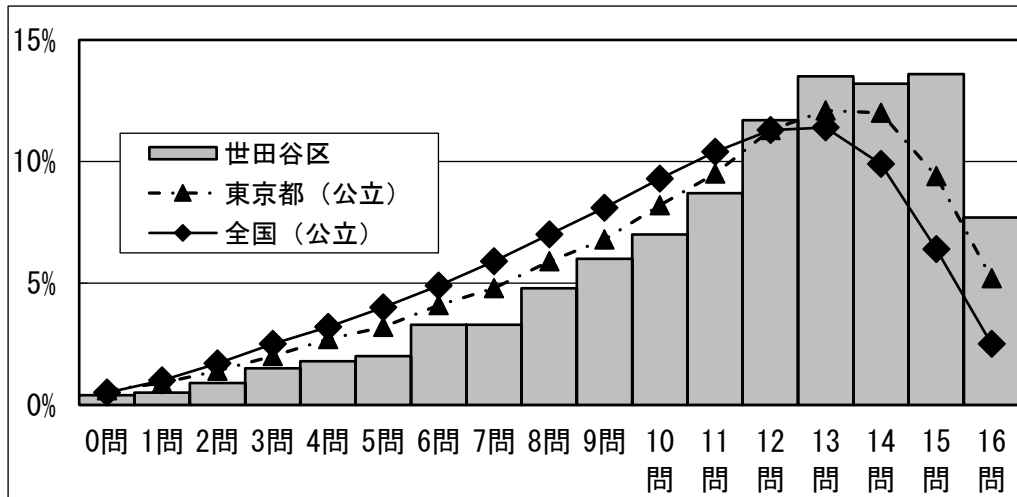
「共有」に関する指導事項の定着を図るためには、互いの文章に対する感想や意見を伝え合うことを通して、自分の文章のよいところを見付けることができるように指導することが重要である。

本設問では、学習指導に当たっては、伝え合う経験を積み重ねていくことで、自分の文章のよいところを見付けたり、それを言葉で表したりする指導が大切である。本設問のように、自分が書いた目的や意図を相手に伝えたり、感想や意見を具体的に伝え合ったりすることができるように指導すると効果的である。さらに、互いの文章を読み合うことで、経験の取り上げ方や言葉の選び方、書き方の工夫を認め合い、自分の表現に生かそうとすることも大切である。

指導事例としては、ロイロノート・スクール等を活用し、交流の機会を増やすとともに、教師がタブレットパソコンで子どもたちの様子を確認し、その状況に応じて、指導したり評価したりする指導が考えられる。 ▶「令和4年度全国学力・学習状況調査報告書—小学校 国語—」参照

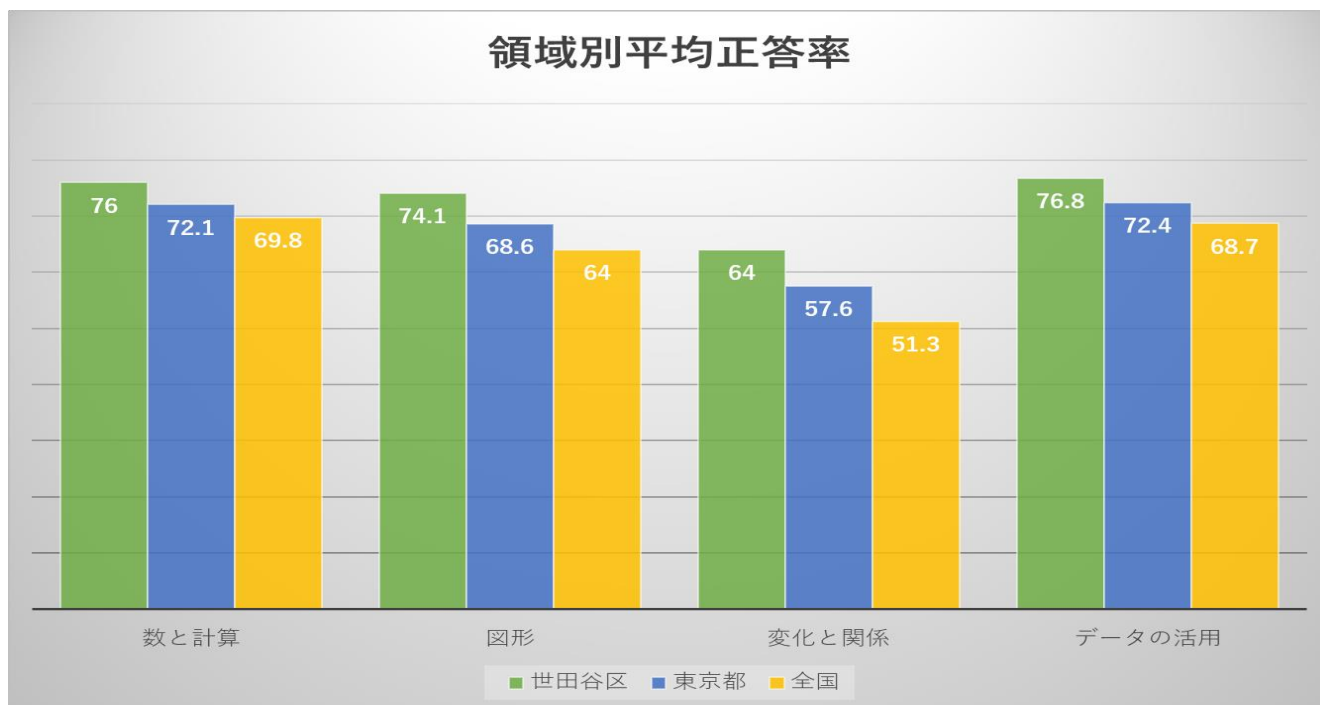
小学校 算数

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：児童の割合）



問題番号	問題の概要	正答率 (%)			無解答率 (%)		
		貴教育委員会	東京都 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	東京都 (公立)	全国 (公立)
1 (1)	1050 × 4 を計算する	94.8	93.5	92.4	0.3	0.4	0.3
1 (2)	14 と 21 の最小公倍数を求める	81.0	76.0	72.2	2.3	3.3	3.0
1 (3)	カップケーキ7個分の値段を、1470 ÷ 3 で求めることができるわけを書く	73.4	72.4	76.0	4.3	6.2	5.2
1 (4)	85 × 21 の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ	45.3	40.7	34.8	0.8	1.2	0.9
2 (1)	果汁が25%含まれている飲み物の量を基にしたときの、果汁の量の割合を分数で表す	82.1	76.8	71.1	2.8	4.0	3.9
2 (2)	果汁が40%含まれている飲み物の量が1000mLのときの、果汁の量を書く	79.2	72.3	64.6	2.3	3.6	3.3
2 (3)	果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ	35.9	29.1	21.4	1.1	1.4	1.1
2 (4)	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く	58.6	52.2	48.0	4.1	5.6	5.5
3 (1)	表のしりとり欄に入る数を求める式と答えを書く	84.5	79.5	75.3	1.3	2.2	2.1
3 (2)	分類整理されたデータから、全員の希望が一つは通るように、遊びを選ぶ	75.1	70.1	63.9	1.5	2.0	1.6
3 (3)	1年生と6年生が希望する遊びの割合を調べるためのグラフを選び、そのグラフから割合が一番大きい遊びを選ぶ	70.8	67.7	66.8	1.7	2.8	2.2
3 (4)	1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く	76.7	70.5	67.7	6.1	9.6	8.6
4 (1)	示されたプログラムについて、正三角形をかきことができる正しいプログラムに書き直す	64.7	55.6	48.8	2.6	4.7	3.8
4 (2)	長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く	89.4	85.7	83.2	3.4	5.2	4.7
4 (3)	辺の長さや角の大きさに着目し、ひし形をかきことができるプログラムを選ぶ	75.7	70.8	66.5	3.6	5.3	4.6
4 (4)	示されたプログラムでかきことができる図形を選ぶ	66.6	62.1	57.6	3.9	5.8	5.1

領域別平均正答率



正答率上位2問

□ 1050×4 を計算する <1 (1)>
94.8% (全国: 92.4%)

□ 長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く <4 (2)>
89.4% (全国: 83.2%)

正答率下位2問

□ 果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ <2 (3)>
35.9% (全国: 21.4%)

□ 85×21 の答えが 1470 より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ <1 (4)>
45.3% (全国: 34.8%)

<調査結果のポイント>

○ 平均正答率が 72% で、すべての領域において、平均正答率は全国・東京都より高い。

<正答率下位の設問> 問題文は、40ページ参照

◆出題の趣旨

示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているどうかをみる。

◆学習指導要領に示されている言語活動例との関連

[第5学年] C 変化と関係

(3) 二つの数量の関係に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを理解すること。

<指導改善のポイント>

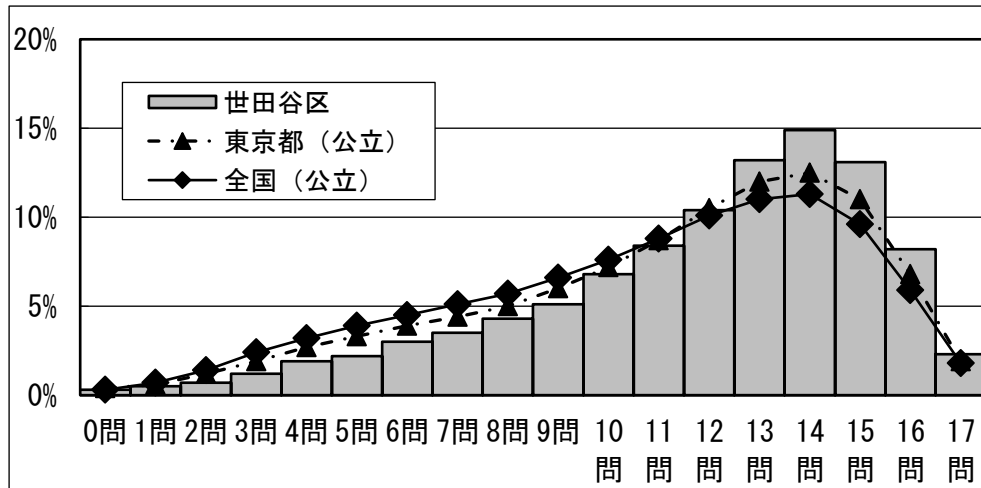
日常の具体的な場面に対応させながら、飲み物の量に対する果汁の量の割合が、飲み物の濃さを表していることを理解できるようにすることが重要である。その際、飲み物を分けても、飲み物の濃さは変わらないという生活経験を想起できるようにすることが大切である。

本設問を用いて、果汁が含まれている飲み物を二つに等しく分けても、飲み物の濃さは変わらないという生活経験を想起しながら、飲み物の量に対する果汁の量の割合は変わらないと判断する活動が考えられる。その際、生活経験を基にした判断と、飲み物の量に対する果汁の量の割合を計算で求めた結果を関連付けて考えることができるようにすることが大切である。

▶ 「令和4年度全国学力・学習状況調査報告書—小学校 算数—」参照

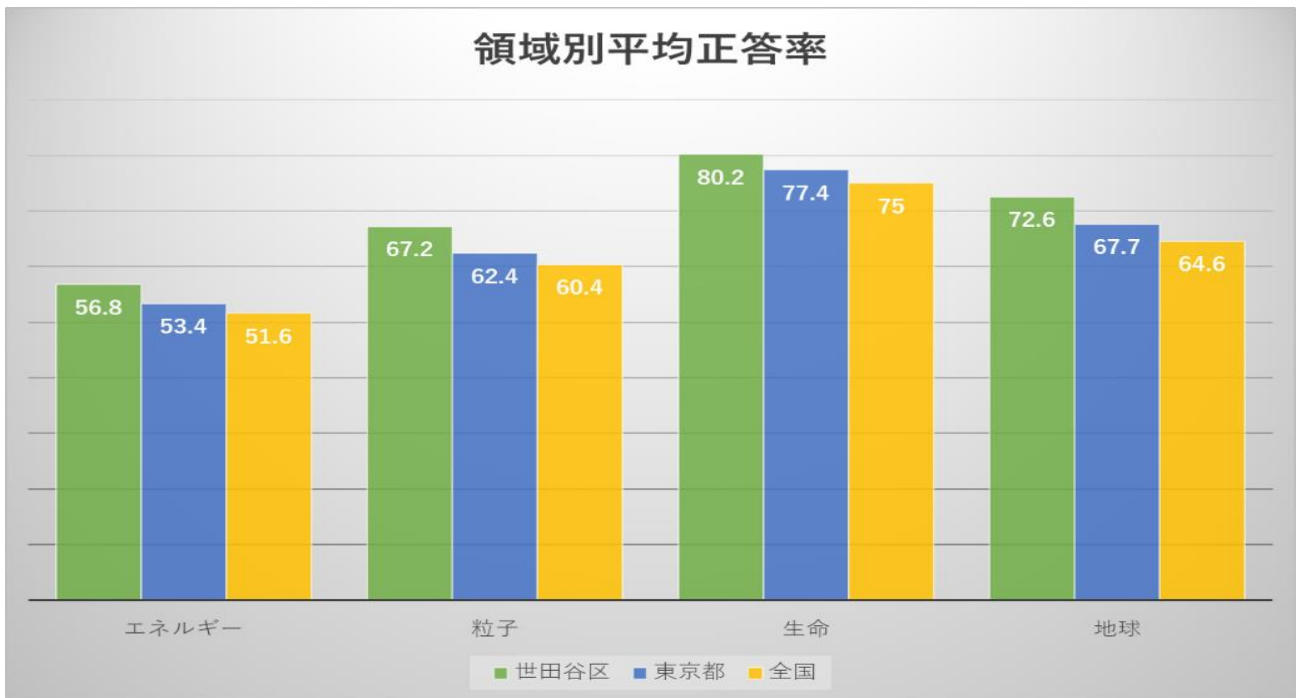
小学校 理科

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：児童の割合）



問題番号	問題の概要	正答率 (%)			無解答率 (%)		
		貴教育委員会	東京都 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	東京都 (公立)	全国 (公立)
1 (1)	見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ	94.9	93.9	92.9	0.2	0.3	0.2
1 (2)	自分の観察の記録と新たに追加された他者の観察の記録を基に、問題に対するまとめを見直して書く	73.5	70.1	67.5	4.6	5.7	5.0
1 (3)	昆虫の体のつくりの特徴を基に、ナナホシテントウが昆虫であるかどうかを説明するための視点を選ぶ	79.6	75.1	73.1	0.3	0.4	0.3
1 (4)	資料を基に、カトムシは育ち方と主な食べ物の特徴から二次元の表のどこに当てはまるのかを選ぶ	82.0	79.0	76.1	0.8	1.0	0.7
1 (5)	育ち方と主な食べ物の二次元の表から気付いたことを基に、昆虫の食べ物に関する問題を見いだし選ぶ	71.0	68.7	65.5	1.3	1.8	1.4
2 (1)	一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く	72.8	64.2	67.8	9.5	12.6	9.8
2 (2)	水50mLをはかり取る際に、メスシリンダーに入れた水の量を正しく読み取り、さらにスポイトで加える水の量を選ぶ	75.1	72.0	70.0	0.7	0.9	0.6
2 (3)	水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見いだし、問題に対するまとめを選ぶ	73.0	68.5	62.8	1.3	1.4	1.0
2 (4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く	42.8	41.8	39.3	7.3	9.6	8.7
3 (1)	光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ	28.7	26.8	27.8	0.6	0.9	0.6
3 (2)	実験の結果から、問題の解決に必要な情報が取り出しやすく整理された記録を選ぶ	81.9	78.1	74.4	1.8	2.0	1.3
3 (3)	鏡ではね返した日光の位置が変化していることを基に、継続して同じ条件で実験を行うために、実験の方法を見直し、新たに追加した手順を書く	76.6	71.5	68.9	4.1	6.1	5.1
3 (4)	問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く	40.1	37.0	35.1	9.4	12.6	11.2
4 (1)	冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶ	88.6	85.0	82.3	0.9	1.5	1.0
4 (2)	夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ	73.3	68.6	64.5	1.2	1.9	1.3
4 (3)	結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ	51.8	47.8	45.5	4.9	7.8	6.5
4 (4)	鉄棒に付着していた水滴と水の粒は、何が変化したものかを書く	72.5	65.4	62.0	5.1	7.7	6.2

領域別平均正答率



正答率上位2問

- 見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ <1 (1)>
94.9% (全国: 92.9%)
- 冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶ <4 (1)>
88.6% (全国: 82.3%)

正答率下位2問

- 光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ <3 (1)>
28.7% (全国: 27.8%)
- 問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く <3 (4)>
40.1% (全国: 35.1%)

<調査結果のポイント>

- 平均正答率が69%で、すべての領域において、平均正答率は全国・東京都より高い。

<正答率下位の設問> 問題文は、41ページ参照

◆出題の趣旨

日光は直進することを理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年〕A 物質・エネルギー

(3) 光と音の性質について、光を当てたときの明るさや暖かさ、音を出したときの震え方に着目して、光の強さや音の大きさを変えたときの違いを比較しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。

(ア) 日光は直進し、集めたり反射させたりできること。

<指導改善のポイント>

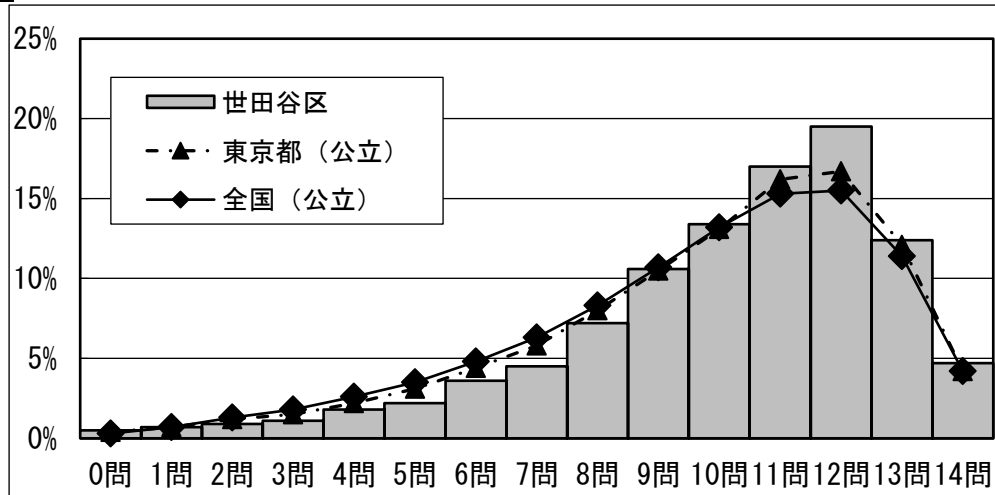
知識をより深く理解できるようにするためには、主体的な問題解決を通して、知識を習得できるようにすることや、習得した知識を実際の自然の事物・現象と関連付けて説明できるようにすることが重要である。

指導に当たっては、例えば、光の進み方に関する問題について、はね返した日光を地面に当てたり、はね返した日光の間に紙を入れたりするなどして、主体的に問題解決をする中で、はね返した日光が直進することを捉え、本設問のような場면을説明する学習活動が考えられる。

▶「令和4年度全国学力・学習状況調査報告書－小学校 理科－」参照

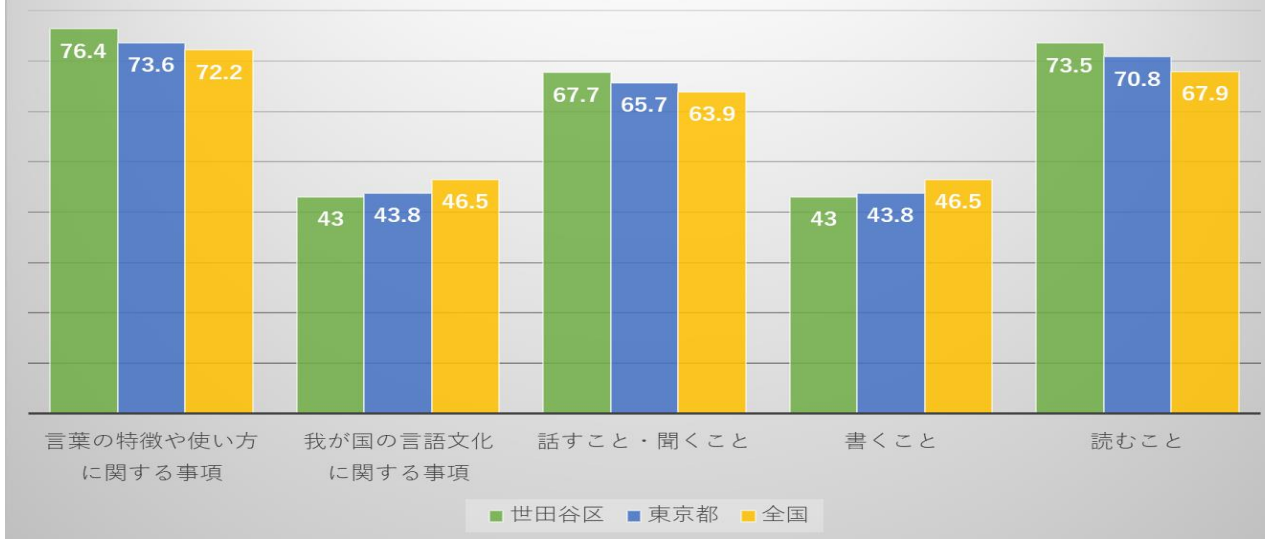
中学校 国語

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）



問題番号	問題の概要	正答率 (%)			無解答率 (%)		
		貴教育委員会	東京都 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	東京都 (公立)	全国 (公立)
1一	スピーチの一部を呼びかけたり問いかけたりする表現に直す	77.1	74.0	74.7	2.8	3.4	3.8
1二	話の進め方のよさを具体的に説明したものとして適切なものを選択する	70.4	69.1	65.1	0.3	0.2	0.1
1三	スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く	55.7	54.1	51.8	10.7	14.1	16.2
2一	意見文の下書きの一部について、文末の表現を直す意図として適切なものを選択する	86.8	84.3	82.3	0.4	0.3	0.2
2二①	漢字を書く (のぞく)	84.9	82.8	82.1	7.9	8.9	8.8
2二②	漢字を書く (よろこんで)	79.1	79.1	80.5	3.2	3.8	3.3
2三	農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える	43.0	43.8	46.5	6.2	7.6	9.0
3一	「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する	63.0	55.1	52.5	1.1	0.9	0.7
3二	「途方に暮れた」の意味として適切なものを選択する	89.1	86.0	84.0	0.6	0.5	0.3
3三	話の展開に沿って「おれ」の行動や心情を並べ替える	66.9	64.9	62.0	1.1	1.2	1.0
3四	「おれ」は何を「なるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く	80.2	76.6	73.8	9.0	11.6	13.3
4一	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する	40.7	39.6	39.4	1.5	1.0	0.9
4二	最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する	91.7	90.8	90.1	1.5	1.1	1.0
4三	書き直した文字の「と」の書き方について説明したものとして適切なものを選択する	82.4	82.3	81.1	1.6	1.2	1.1

内容別平均正答率



正答率上位2問

- 最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したのとして適切なものを選択する <4二>
91.7% (全国: 90.1%)
- 「途方に暮れた」の意味として適切なものを選択する <3二>
89.1% (全国: 84.0%)

正答率下位2問

- 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したのとして適切なものを選択する <4一>
40.7% (全国: 39.4%)
- 農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える <2三>
43.0% (全国: 46.5%)

<調査結果のポイント>

- 平均正答率が72%で、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」の平均正答率は全国・東京都より高いが、「我が国の言語文化に関する事項」「書くこと」の平均正答率は全国・東京都より低い。

<正答率下位の設問> 問題文は、42・43ページ参照

◆出題の趣旨

行書の特徴を理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕知識及び技能

(3) 我が国の言語文化に関する事項

エ(イ) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。《書写》

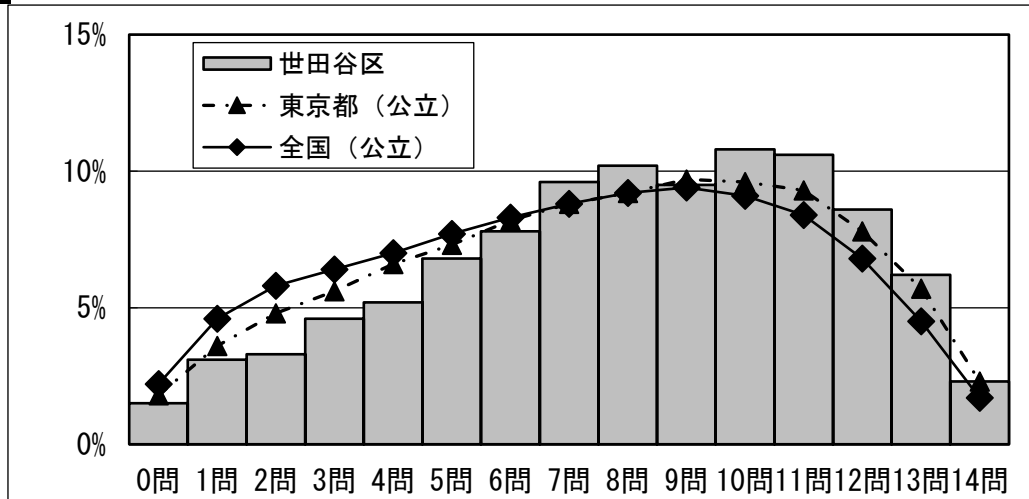
<指導改善のポイント>

直線的な点画で構成されている漢字を行書で書く際には、点や画の形が丸みを帯びる場合があること、点や画の方向及び止め・はね・払いの形が変わる場合があること、点や画が連続したり省略されたりする場合があること、筆順が変わる場合があることなどといった行書の特徴を理解して書く必要がある。その際、楷書で書いた漢字と比較するなど、これまで学習してきたことを踏まえて指導することが大切である。また、筆脈を意識した点画のつながりなどを身に付けさせるために、毛筆の活用に配慮する必要がある。

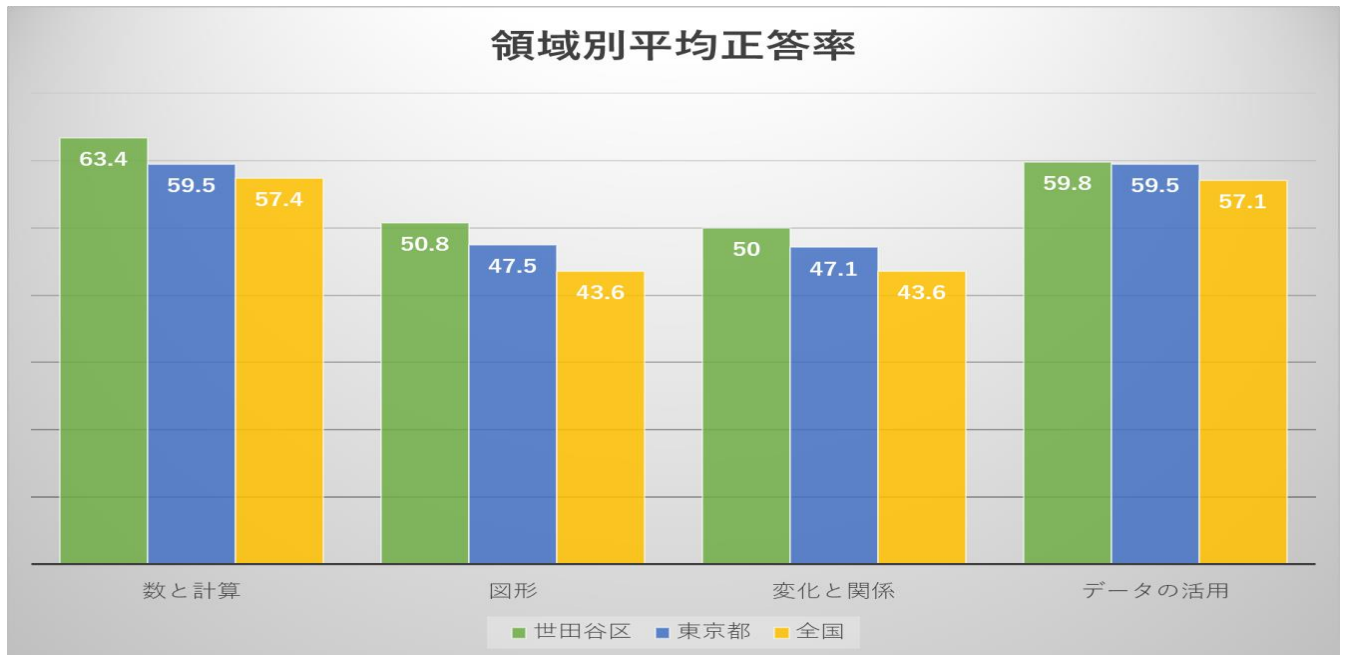
例えば、同じ文字を楷書で書いたものと行書で書いたものとを比較するとともに、点画の連続や点画の省略、筆順の変化などの行書の特徴が、実際に行書で書いた文字のどの部分に表れているのかを確かめる学習活動が考えられる ▶「令和4年度全国学力・学習状況調査報告書－中学校 国語－」参照

中学校 数学

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）



問題番号	問題の概要	正答率 (%)			無解答率 (%)		
		貴教育委員会	東京都 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	東京都 (公立)	全国 (公立)
1	42を素因数分解する	52.7	47.6	52.2	11.9	13.2	11.5
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 2x + y = 1 \\ y = x + 4 \end{cases}$ を解く	81.0	78.6	74.5	4.5	5.1	6.1
3	ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選ぶ	50.4	48.1	44.9	0.4	0.5	0.4
4	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	42.6	41.0	37.9	0.6	0.5	0.4
5	容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ	86.4	85.4	83.3	0.6	0.4	0.3
6 (1)	同じ偶数の和である $2n + 2n = 4n$ について、 n が9のときどのような計算を表しているかを書く	82.6	78.2	73.8	3.9	5.2	6.0
6 (2)	差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する	56.6	52.5	48.7	13.2	17.0	20.0
6 (3)	ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する	44.3	40.7	37.6	20.2	24.2	26.2
7 (1)	コマ回し大会で使用するコマをヒストグラムの特徴を基に選び、選んだ理由を説明する	47.7	47.0	44.0	1.5	1.5	1.4
7 (2)	箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、正しく述べたものを選ぶ	45.2	46.2	44.1	1.2	0.9	0.7
8 (1)	与えられたグラフにおいて、点Eの座標を書く	61.5	58.5	54.6	6.0	6.4	7.2
8 (2)	目標の300kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する	46.0	41.8	38.4	17.8	21.2	24.4
9 (1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	81.8	78.1	73.2	5.7	6.5	7.5
9 (2)	$\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成する	20.2	16.7	12.5	31.6	36.3	38.5



正答率上位2問

- 同じ偶数の和である $2n + 2n = 4n$ について、 n が9のときのような計算を表しているかを書く <6 (1)>
82.6% (全国: 73.8%)
- 証明で用いられている三角形の合同条件を書く <9 (1)>
81.8% (全国: 73.2%)

正答率下位2問

- $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成する <9 (2)>
20.2% (全国: 12.5%)
- 変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ <4>
42.6% (全国: 37.9%)

<調査結果のポイント>

- 平均正答率が 57% で、すべての領域において、平均正答率は全国・東京都より高い。

<正答率下位の設問> 問題文は、44・45・46ページ参照

◆出題の趣旨

筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領に示されている言語活動例との関連

[第2学年] B 図形

- (2) 図形の合同について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
イ) 三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用すること。

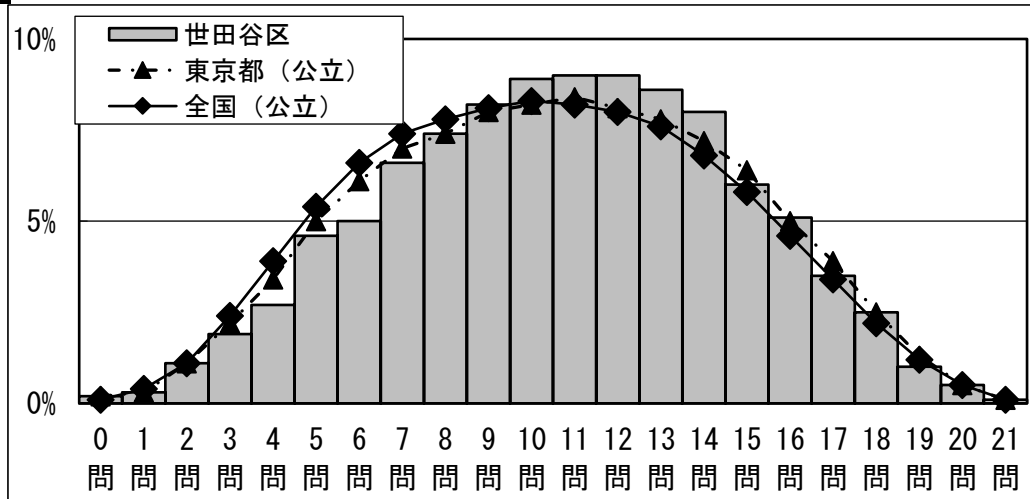
<指導改善のポイント>

図形の性質を考察する場面では、観察や操作、実験などの活動を通して、予想した事柄が成り立つ理由を、筋道を立てて考えることができるようにするとともに、条件を変えても予想した事柄が成り立つか確かめたり、予想した事柄が成り立つための条件を見いだしたりするなど、統一的・発展的に考察することが大切である。

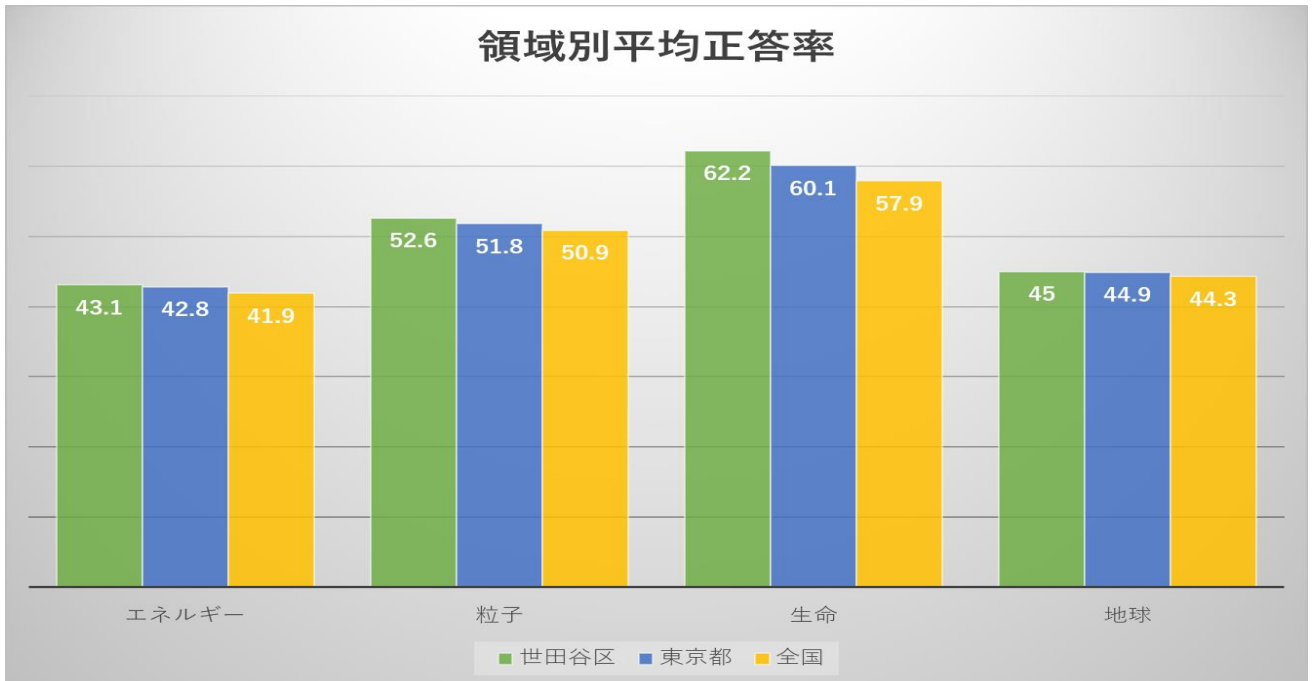
また、観察や操作などの活動を通して、成り立つと予想される事柄を見いだす場面の指導では、長方形の大きさや形を変えた図形を観察する際には、コンピュータを活用することも効果的である。さらに、統一的・発展的に考察する場面では、長方形 $ABCD$ を他の四角形に変えても、線分 EB と線分 BF が等しくなるといえるかどうかを、考察する場面を設定するなどの工夫が考えられる。▶「令和4年度全国学力・学習状況調査報告書—中学校 数学—」参照

中学校 理科

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：生徒の割合）



問題番号	問題の概要	正答率 (%)			無解答率 (%)			問題番号	問題の概要	正答率 (%)			無解答率 (%)		
		貴教育委員会	東京都 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	東京都 (公立)	全国 (公立)			貴教育委員会	東京都 (公立)	全国 (公立)	貴教育委員会	東京都 (公立)	全国 (公立)
1 (1)	日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する	45.3	45.8	44.2	0.3	0.1	0.1	5 (1)	おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する	18.7	16.1	15.3	0.5	0.3	0.2
1 (2)	タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組合せを選択する	79.0	78.2	78.5	0.2	0.2	0.1	5 (2)	「ばねが縮む長さは、加える力の大きさに比例するか」という課題に正対した考察を行うために、適切に処理されたグラフを選択する	44.3	47.1	45.0	0.6	0.6	0.4
2 (1)	観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を空気の柱の長さで説明する際、適切な長さの変化を選択する	56.9	54.5	54.2	0.3	0.3	0.2	5 (3)	考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する	45.5	44.3	43.3	25.2	28.3	29.4
2 (2)	気圧、気温、湿度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する	40.2	40.5	40.8	0.6	0.4	0.3	6 (1)	玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する	43.8	46.8	48.0	0.5	0.4	0.3
2 (3)	上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する	29.0	29.3	28.5	0.5	0.3	0.3	6 (2)	陸上の日地点で中生代のサンゴの化石が観察されることについて、垂直方向の変動だけで推論した他者の考察を検討し、水平方向の変動も踏まえた推論が必要であることを指摘する	64.3	62.1	60.3	0.6	0.7	0.6
3 (1)	分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す	77.2	78.6	80.1	0.3	0.2	0.1	6 (3)	東西方向と南北方向の地層の断面である露頭のスケッチから、地層が傾いている向きを選択する	35.7	36.3	34.2	0.8	0.8	0.7
3 (2)	水素を燃料として使うしくみの例の水の質量の変化について、適切なものを選択する	62.7	61.0	60.2	0.5	0.4	0.3	7 (1)	液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する	40.4	39.3	35.9	0.5	0.5	0.4
3 (3)	水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおもとを指摘する	25.7	25.3	24.8	3.9	4.3	4.3	7 (2)	吸湿発熱繊維に水蒸気を多く含む空気を通した一つの実験だけで行った考察について、課題に正対しているかどうかを検討し、必要な実験を指摘する	56.8	55.1	53.4	1.2	1.2	1.0
4 (1)	ダイオウグソクムシとダンゴムシのあしの様子が異なることについて、生活場所や移動の仕方と関連付け、その理由を説明する	76.9	75.5	74.5	4.3	4.8	5.5	8 (1)	アリが視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述する	60.4	58.5	55.2	9.6	11.1	11.6
4 (2)	脊椎動物には骨格のつくり共通点があることから、カラスの関節Aに対応するヒトとカエルのあしの関節を選択する	68.7	68.1	65.6	0.4	0.3	0.2	8 (2)	予想や仮説と異なる実験の結果が出る場合、その意味することや考えられる可能性について考え、実験の操作や条件制御の不備の可能性を指摘する	62.1	58.5	55.1	12.8	14.3	14.9
								8 (3)	生物Xが昆虫類かどうかアリと比較しながら、観点と基準を明確にして判断する	42.7	39.8	39.2	1.4	1.5	1.4



正答率上位2問

□タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組合せを選択する<1(2)>

79.0% (全国: 78.5%)

□分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す<3(1)>

77.2% (全国: 80.1%)

正答率下位2問

□おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する<5(1)>

18.7% (全国: 15.3%)

□水素を燃料として使うしくみの例の全体を動かせるおもとを指摘する<3(3)>

25.7% (全国: 24.8%)

<調査結果のポイント>

- 平均正答率が51%で、すべての領域において、平均正答率は全国・東京都より高い。

<正答率下位の設問> 問題文は、47・48ページ参照

◆出題の趣旨

力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる。

◆学習指導要領に示されている言語活動例との関連

第1分野(1) 身近な物理現象

(イ) 力の働き

㊦ 力の働き

物体に力を働かせる実験を行い、物体に力が働くとその物体が変形したり動き始めたり、運動の様子が変わったりすることを見いだして理解するとともに、力は大きさと向きによって表されることを知る。また、物体に働く2力についての実験を行い、力がつり合うときの条件を見いだして理解すること。(イ) 三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用すること。

<指導改善のポイント>

力の働きについて科学的に探究する上で、力は大きさと向きによって表されることや物体に働く2力のつり合いなど、目に見えない力を矢印で表して説明することは大切である。

指導に当たっては、物体に力を働かせる実験を行い、一つの物体に二つの力が働いていることに気付くようにし、それらの力の大きさや向きを矢印で表して、つり合いの関係を説明する学習場面を設定することが考えられる。

▶「令和4年度全国学力・学習状況調査報告書—中学校 理科—」参照

－ 2 無解答率 10%以上の問題について

学校	教科	問題番号	解答形式	無解答率 (%)		
				世田谷区	東京都	全国
小学校	国語	2 二	記述式	10.9	13.9	12.2
		3 二	記述式	11.8	17.4	14.5
		3 三ウ	短答式	13.4	18.5	14.7
中学校	国語	1 三	記述式	10.7	14.1	16.2
	数学	1	短答式	11.9	13.2	11.5
		6 (2)	記述式	13.2	17.0	20.0
		6 (3)	記述式	20.2	24.2	26.2
		8 (2)	記述式	17.8	21.2	24.4
		9 (2)	記述式	31.6	36.3	38.5
	理科	5 (3)	記述式	25.2	28.3	29.4
		8 (2)	記述式	12.8	14.3	14.9

〔結果〕

○無解答率 10%以上の問題は、上記の表のとおり、小学校 3 問、中学校 8 問、合計で 11 問であった。また無解答率 15%以上の問題は、4 問であり、すべて中学校であった。

<小学校>

○小学校国語では、物語から伝わってくることを考え記述する問題（2 二）、自分の文章のよいところを見つけて記述する問題（3 二）、漢字の短答式の問題（3 三ウ）である。

〔無解答率が高かった問題〕国語（3 三ウ）漢字の短答式の問題（「したしむ」）無解答率：13.4%
問題文は、39 ページ参照

<中学校>

○中学校国語では、スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、その意図を記述する問題（1 三）である。

○中学校数学では、素因数分解する問題で全国の無解答率を上回っている。（「42 を素因数分解する」）無解答率：11.9% その他は、数と式の問題（6 (2) (3)）、図形の問題（9 (2)）、関数の問題（8 (2)）である。

○中学校理科では、考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明、記述する問題（5 (3)）、予想や仮説と異なる実験結果が出る場合、その意味することや考えられる可能性について考え、実験の操作や条件制御の不備の可能性を指摘する記述式の問題（8 (2)）

〔無解答率が高かった問題〕数学（9 (2)）（「図形の照明」）無解答率：31.6%
問題文は、44～46 ページ参照

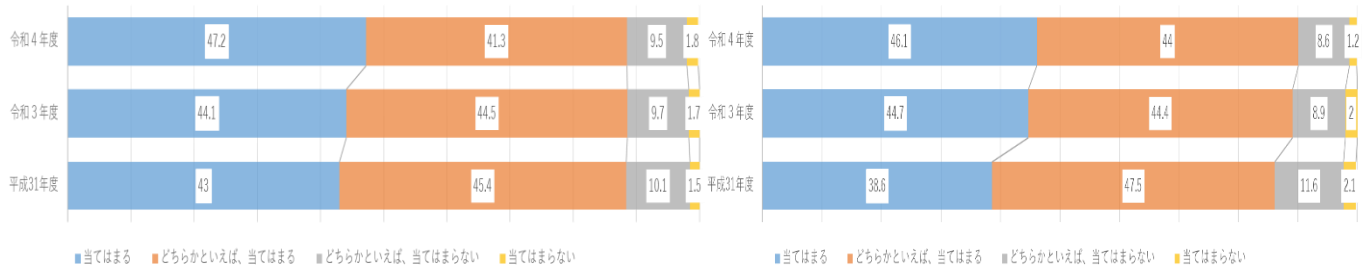
<指導改善のポイント>

無解答率の高い問題の解答形式を見ると、「記述式」が多いことがわかる。国語では、必要な情報を取り出して自分の考えをまとめて書いたり、条件（字数や文章の語句を用いるなど）を満たす作文に取り組んだりすることで記述する力が高まると考える。また、算数・数学では、既習事項を活用して論理的に説明したり、証明したりする活動を多く取り入れたり、理科では、実験や観察で得られた結果やデータを考察し、その内容を的確に表現する活動を意図的・計画的に取り入れることも改善に結び付くと考える。併せて、無解答の要因を分析し、（例：時間が足りなかった、難しそうであきらめてしまったなど）その内容に基づく指導も必要と思われる。

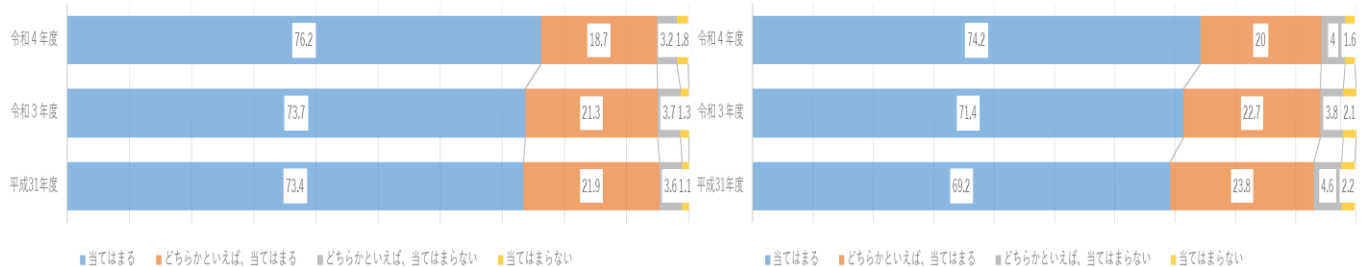
3 質問紙調査結果（児童・生徒、学校） - 1 キャリア教育に関する視点から

◆「人間関係形成能力・社会形成能力」に関わる項目（左側：小学校、右側：中学校）

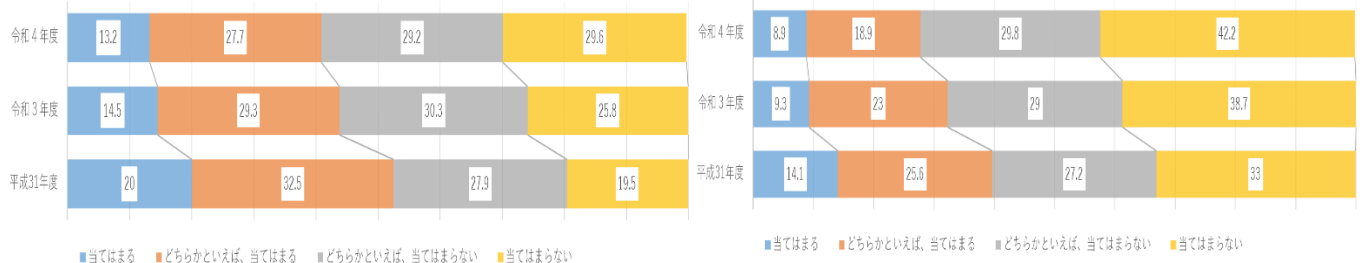
○ 人が困っているときは、進んで助けていますか



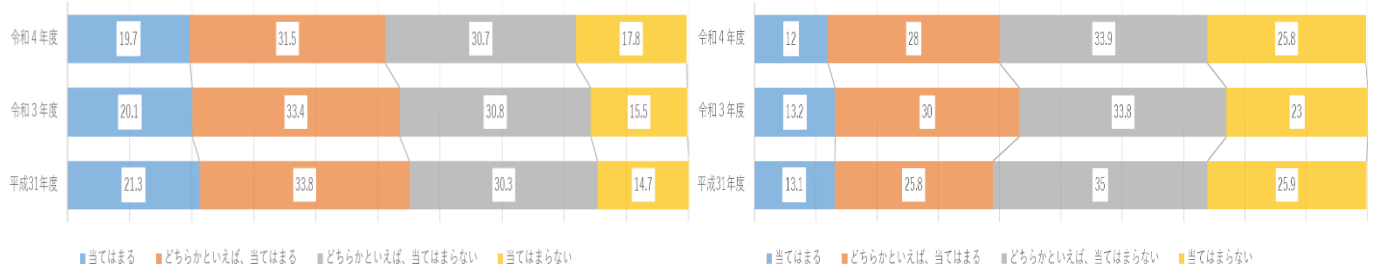
○ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



○ 今住んでいる地域の行事に参加していますか



○ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

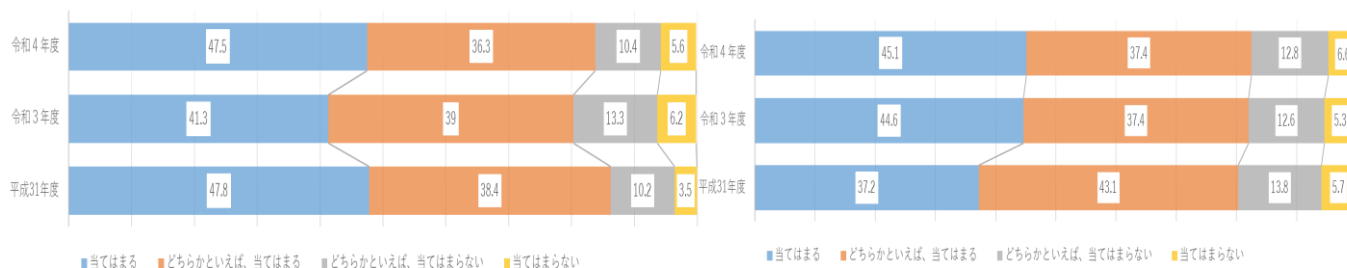


<調査結果のポイント>

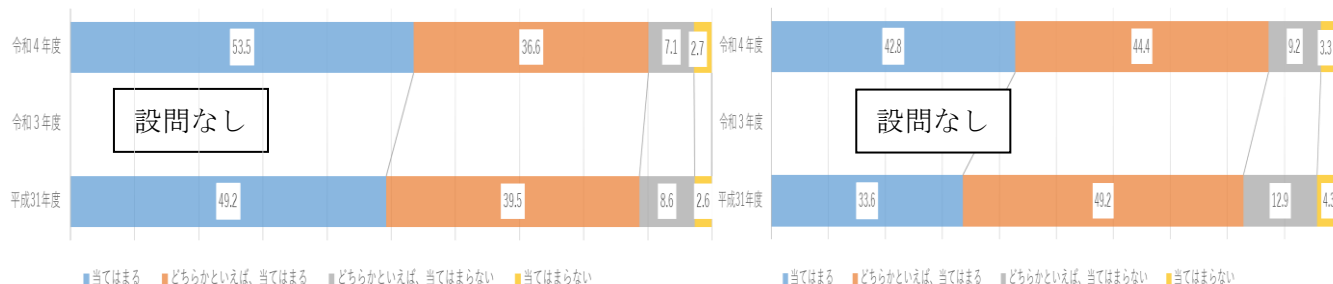
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」との質問に、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合は小学校・中学校とも上昇傾向にある。
- 地域とのかかわりに関する「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」との質問に、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合は小学校、中学校とも下降傾向にある。

◆「自己理解・自己管理能力」に関わる項目（左側：小学校、右側：中学校）

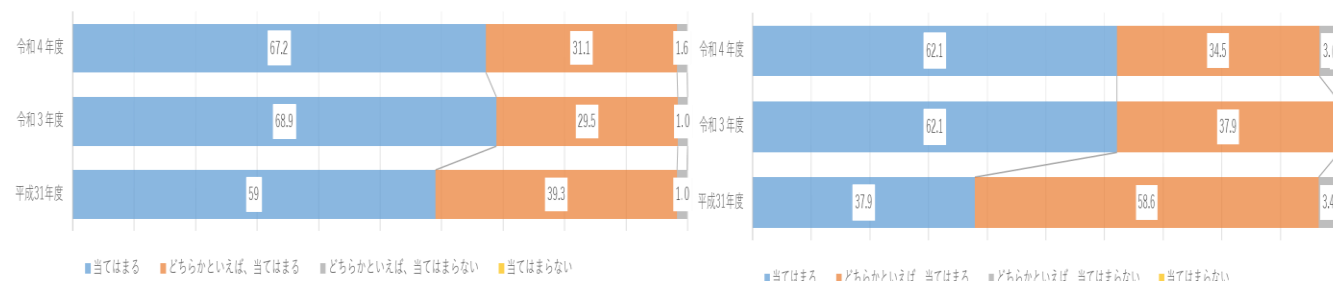
○ 自分には、よいところがあると思いますか



○ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



○ 前年度までに、学校生活の中で、児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか <学校質問紙>

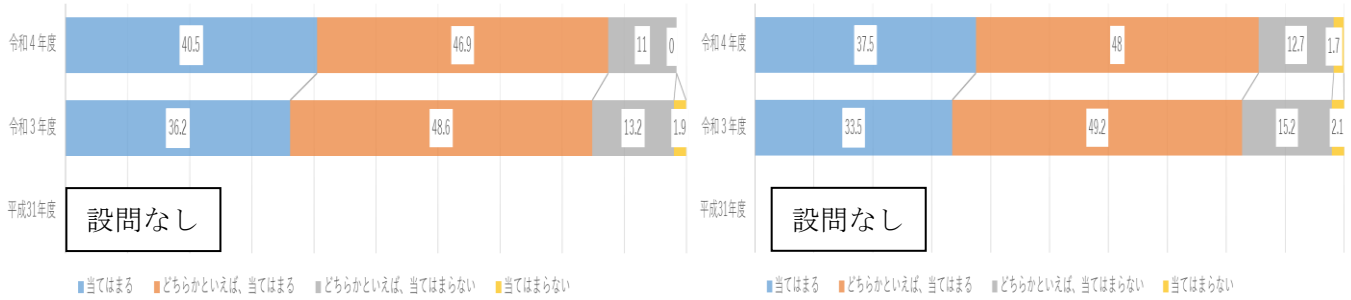


<調査結果のポイント>

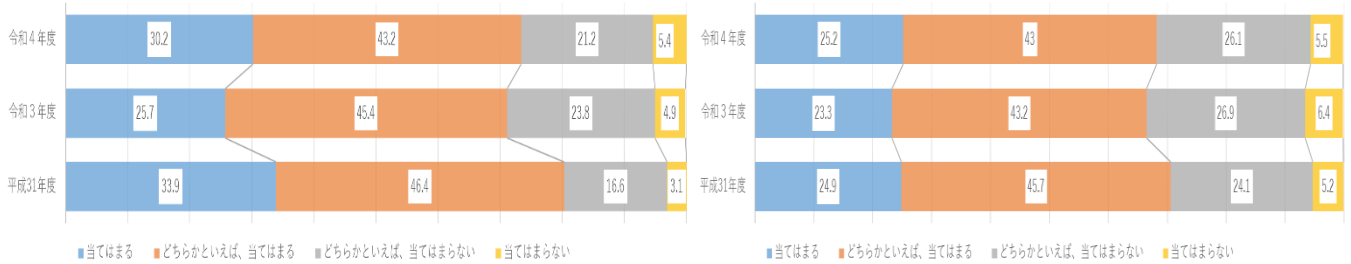
- 「自分には、よいところがあると思いますか」との質問に、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合は小学校、中学校とも上昇傾向にある。
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」との質問に、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合は小学校、中学校とも上昇傾向にある。
- 学校質問紙（学校回答）の「前年度までに、学校生活の中で、児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか」との質問回答と児童・生徒質問紙の「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」との質問回答を比較すると、「当てはまる」と回答した学校の割合と、児童・生徒の割合において意識の差が見られる。

◆「課題対応能力」に関わる項目（左側：小学校、右側：中学校）

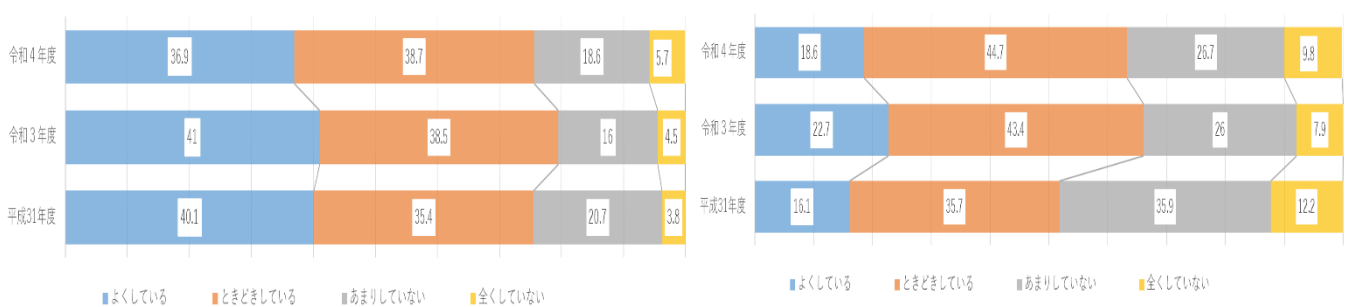
○ 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか



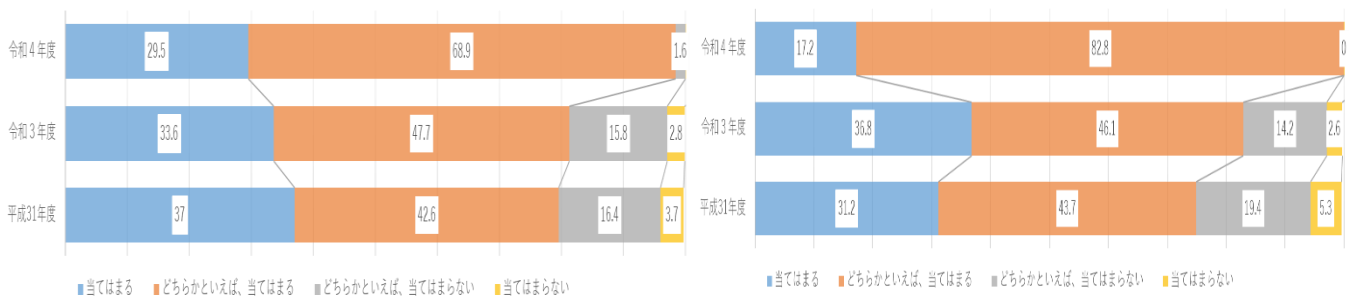
○ 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



○ 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）



○ 5年〔1、2年〕生まで〔のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか

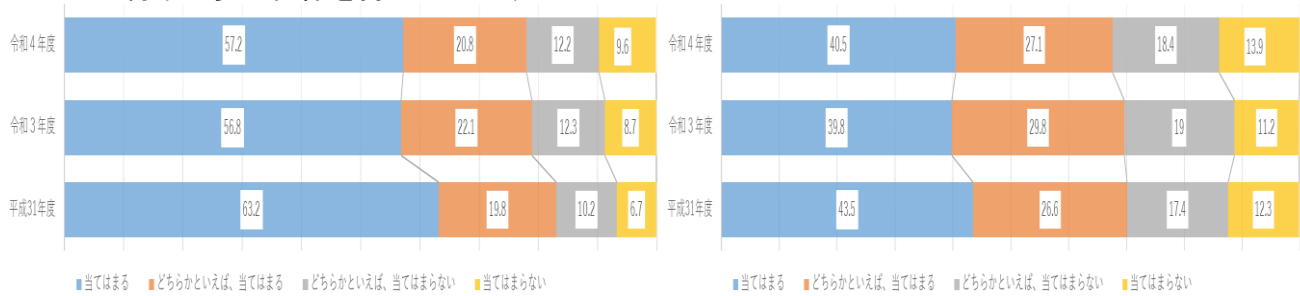


<調査結果のポイント>

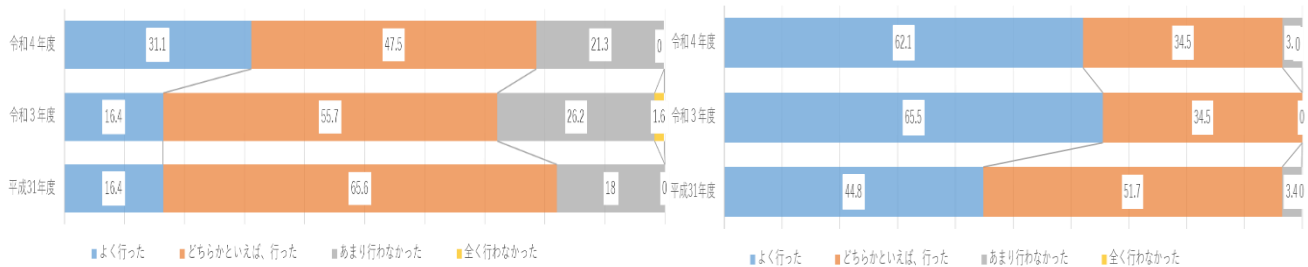
- 「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」との質問に、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合は小学校、中学校とも上昇傾向にある。一方で、「家で自分の計画を立てて勉強をしていますか」との質問に、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合は小学校、中学校とも下降傾向にある。
- 「5年〔1、2年〕生まで〔のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」との質問に、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合は下降傾向にあるが、肯定的に回答した割合は、小学校・中学校ともに上昇している。

◆「キャリアプランニング能力」に関わる項目（左側：小学校、右側：中学校）

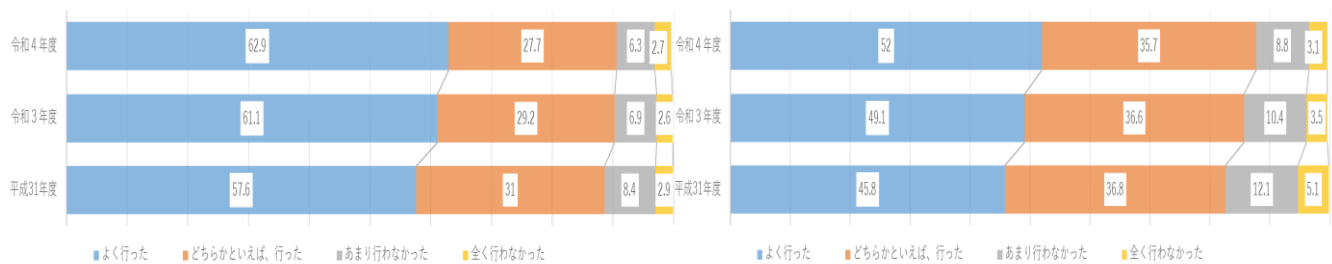
○ 将来の夢や目標を持っていますか



○ 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか <学校質問紙>

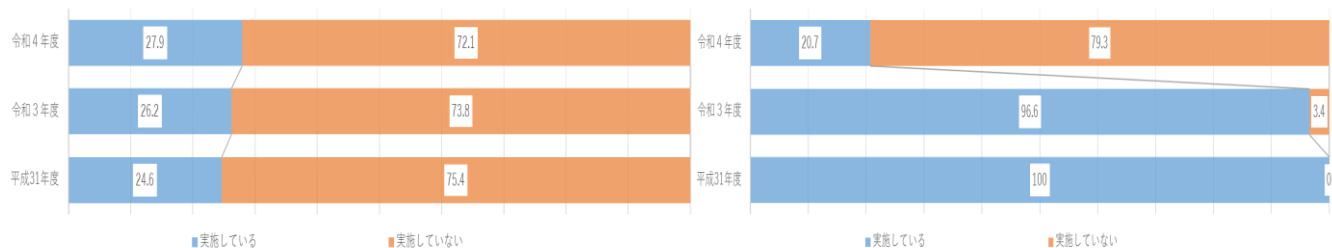


○ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



○ (小学校) 職場見学を行っていますか

(中学校) 調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか <学校質問紙>



<調査結果のポイント>

- 「将来の夢や目標を持っていますか」との質問に、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合は小学校、中学校とも上昇傾向にある。
- 「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか」との質問に、「当てはまる」と回答した学校の割合は小学校において上昇、中学校は下降傾向にある。
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」との質問に、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合は小学校、中学校とも上昇傾向にある。

※算数・数学、理科の学習においても上昇傾向にある。

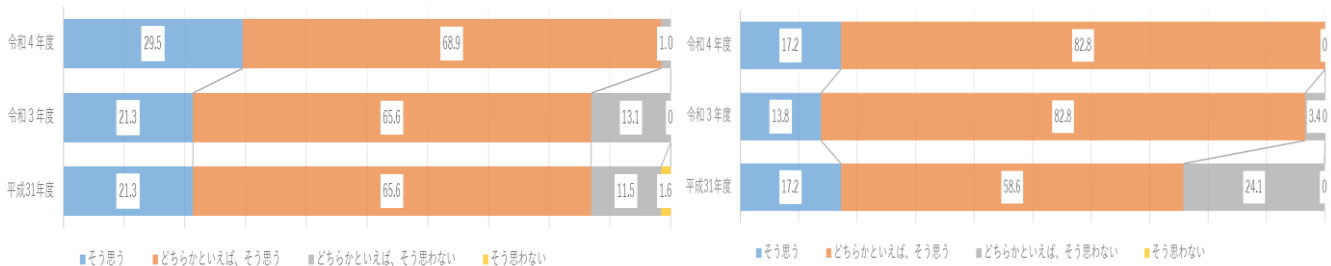
○ 「（小学校）職場見学を行っていますか」

「（中学校）調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか」との質問に、「当てはまる」と回答した学校の割合は小学校において上昇、中学校は「前年度」ということで、新型コロナウイルス感染症予防のため、直接的な職場体験の機会は減少した。

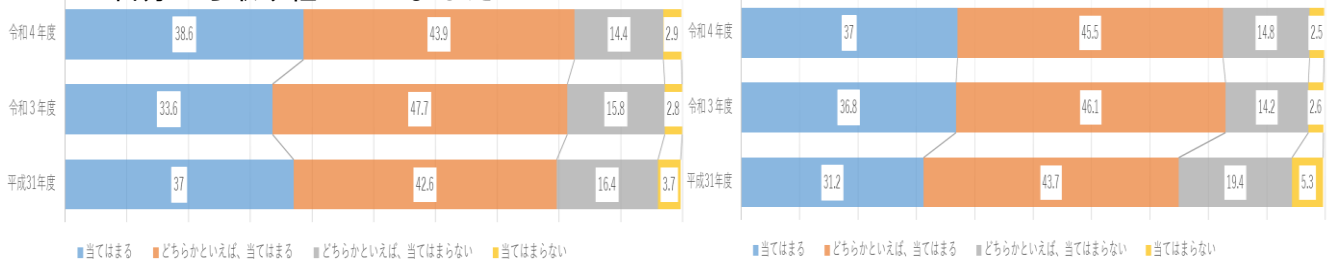
- 2 「せたがや探究的な学び」に関する視点から

◆ 「課題を見だし、把握している」「課題解決の方法を考えている」に関連する項目（左側：小学校、右側：中学校）

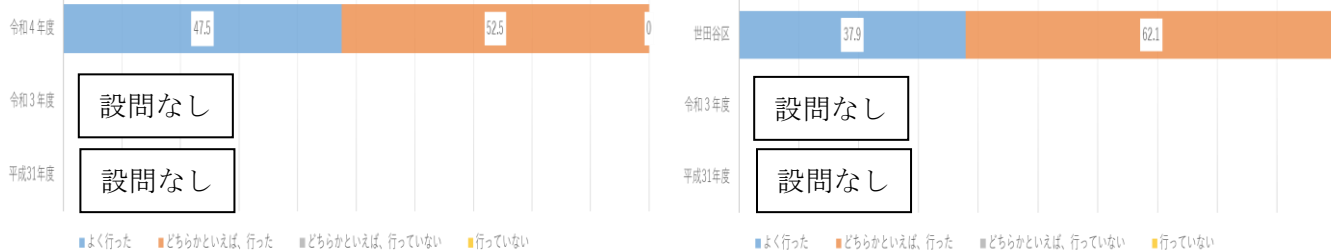
○ 児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分の考え、自分から取り組むことができていると思いますか <学校質問紙>



○ 5年〔1, 2年〕生まで〔のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



○ 調査対象児童・生徒に対して、前年度までに、授業において、児童・生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか <学校質問紙>

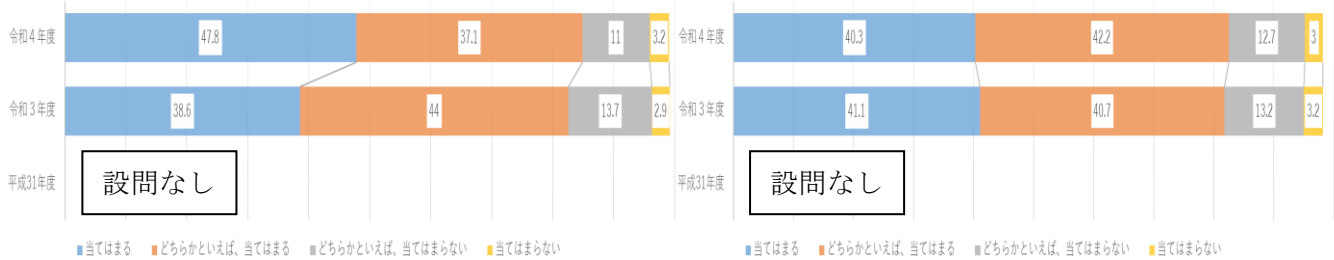


<調査結果のポイント>

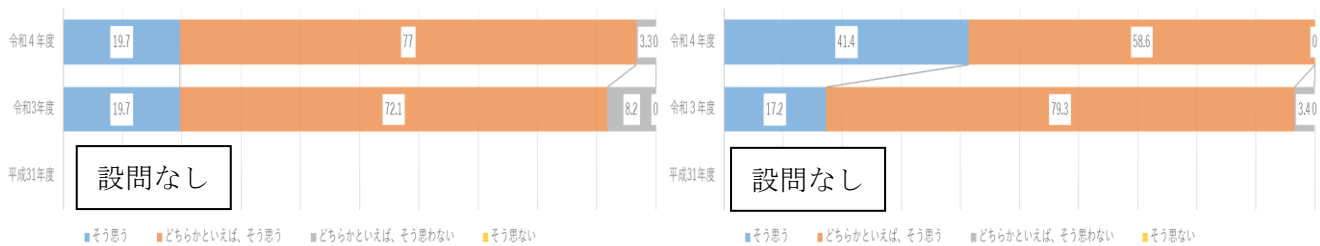
- 「児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分の考え、自分から取り組むことができていると思いますか。」との質問に、「当てはまる」と回答した学校の割合は小学校・中学校で上昇傾向にある。
- 「5年〔1, 2年〕生まで〔のとき〕に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分の考え、自分から取り組んでいましたか」との質問に、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合は小学校・中学校で上昇傾向にある。
- 「調査対象児童・生徒に対して、前年度までに、授業において、児童・生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか」との質問に、本区の全小学校・中学校が肯定的に回答した。

◆「協働して学んでいる」に関連する項目（左側：小学校、右側：中学校）

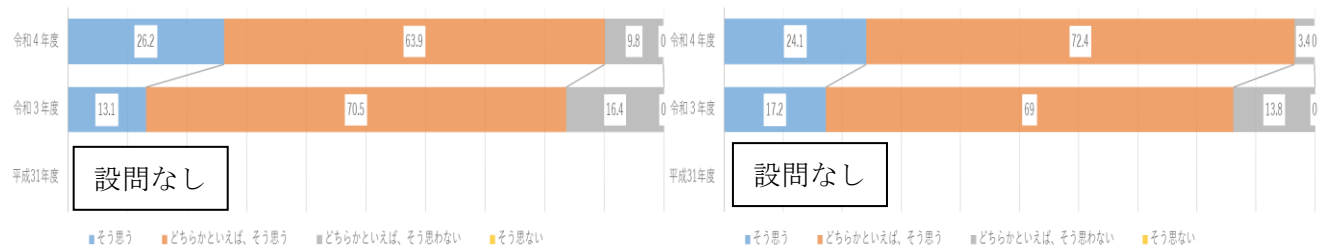
- 学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



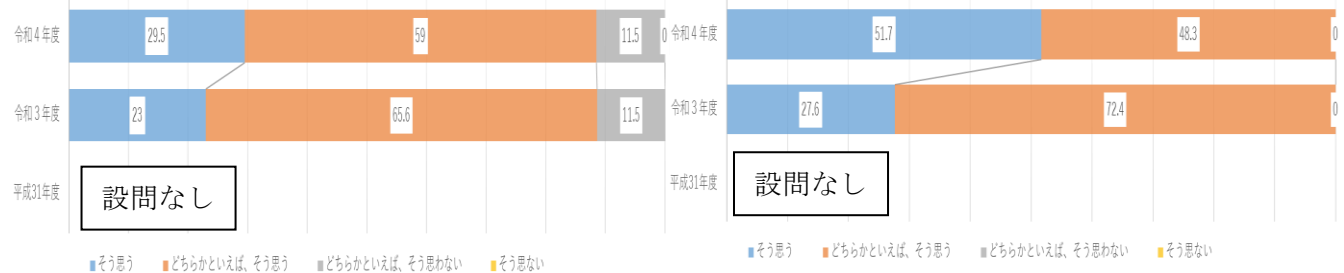
- 調査対象児童・生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか <学校質問紙>



- 調査対象児童・生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか <学校質問紙>



- 調査対象児童・生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか <学校質問紙>

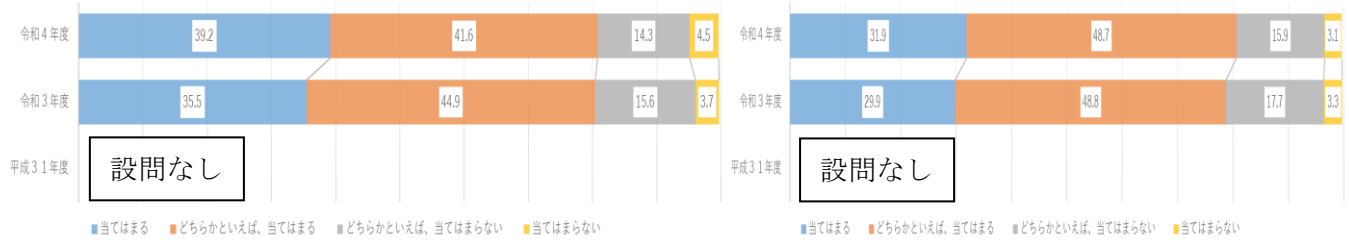


<調査結果のポイント>

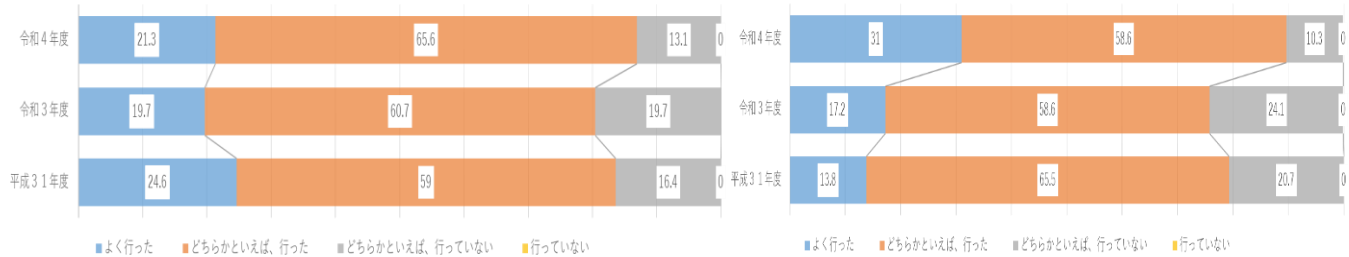
- 「学級の友達〔生徒〕との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」との質問に「そう思う」と回答した児童・生徒の割合は小学校で上昇、中学校で若干の下降が見られた。
- 「調査対象児童・生徒は、学級やグループでの話し合いの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思うか、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思うか、相手の考えを最後まで聞くことができていると思うか」との質問に、肯定的に回答した学校の割合は上昇傾向にある。

◆「学びを振り返り、次につなげている」に関連する項目（左側：小学校、右側：中学校）

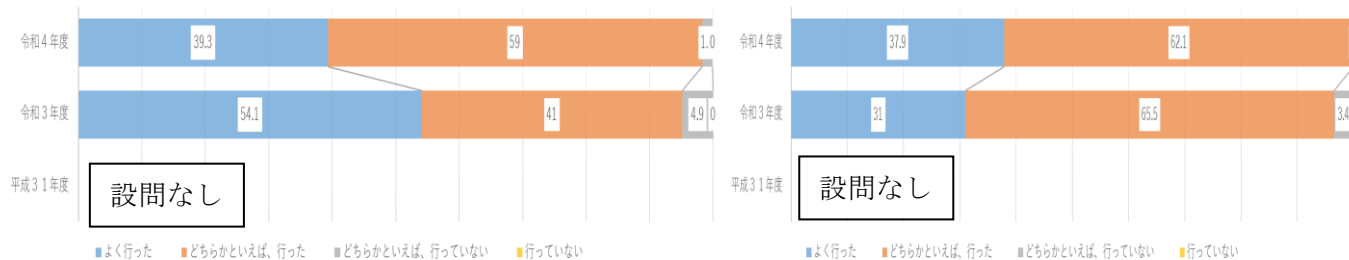
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



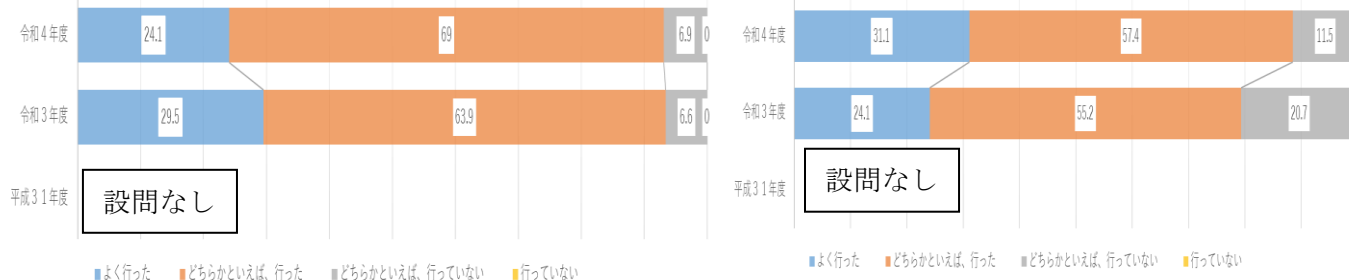
- 調査対象児童・生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか <学校質問紙>



- 調査対象児童・生徒に対して、前年度までに、児童・生徒のよい点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしましたか <学校質問紙>



- 調査対象児童・生徒に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組をしましたか <学校質問紙>



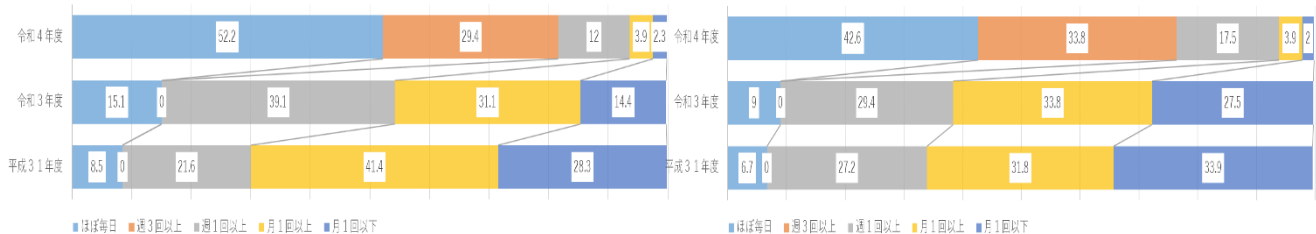
<調査結果のポイント>

- 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」との質問に、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合は小学校・中学校ともに上昇傾向である。また、「各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか」との質問に、肯定的に回答した学校の割合も上昇傾向にある。
- 「調査対象児童・生徒に対して、前年度までに、児童・生徒のよい点や改善点等を積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにしましたか」「創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会

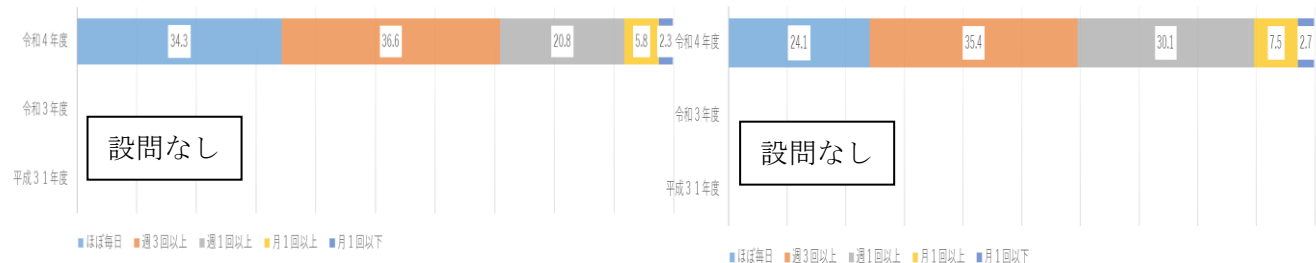
や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組をしましたか」との質問に、「よく行った」と回答した学校の割合は小学校で下降、中学校で上昇傾向にある。

- 3 ICTを活用した学習の視点から（左側：小学校、右側：中学校）

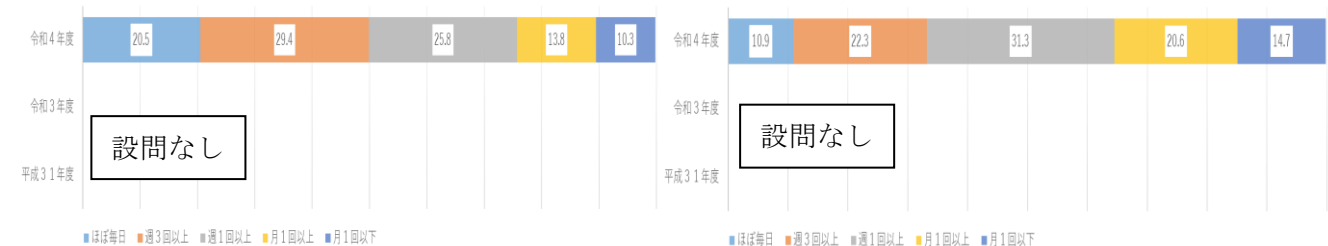
- 5年〔1、2年〕生まで〔のとき〕に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



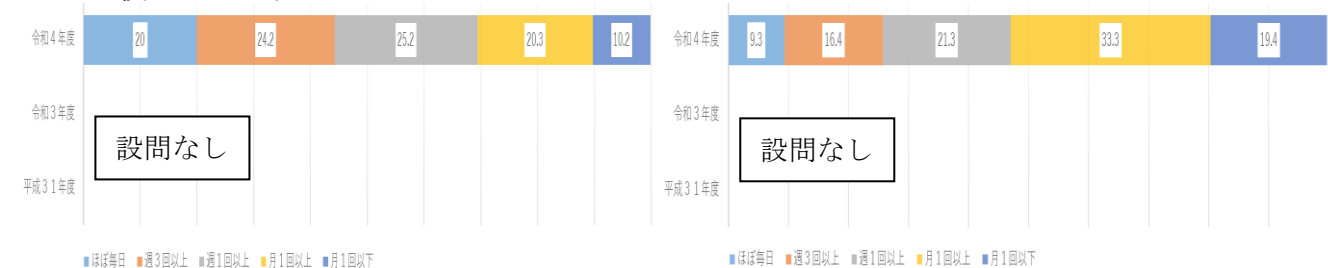
- 学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか



- 学校で、授業中に友達と意見交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか



- 学校で、自分の考えをまとめる場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか

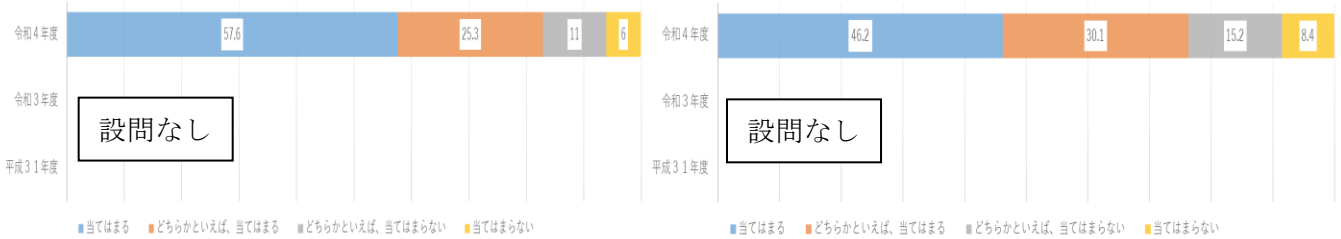


<調査結果のポイント>

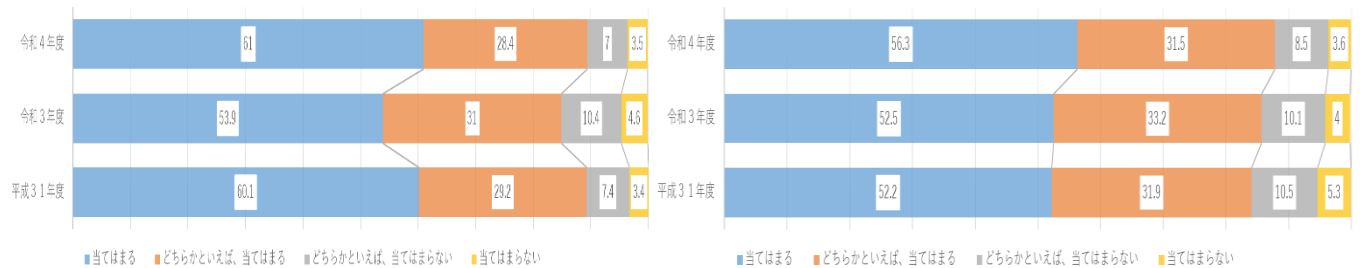
- 「5年〔1、2年〕生まで〔のとき〕に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」との質問に、「ほぼ毎日」と回答した児童・生徒の割合は小学校・中学校ともに大きく上昇している。
- 「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか」との質問に「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した児童・生徒の割合は小学校・中学校ともに半数以上であるが、意見交換や考えをまとめる場面では、半数以下である。

- 4 その他（左側：小学校、右側：中学校）

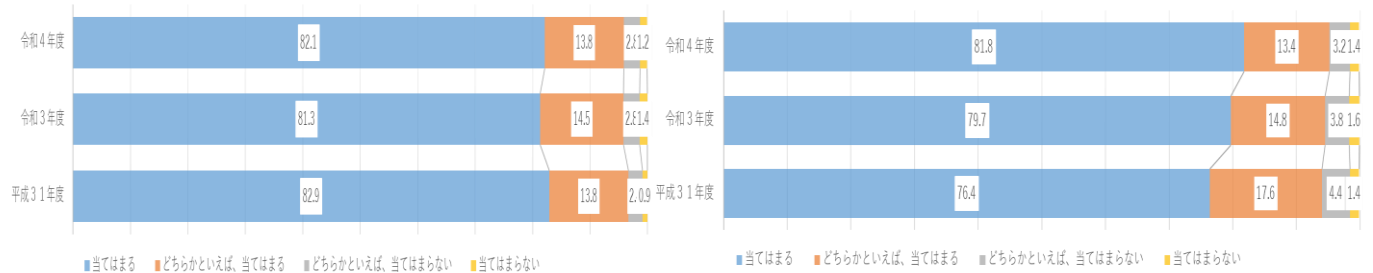
○ 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



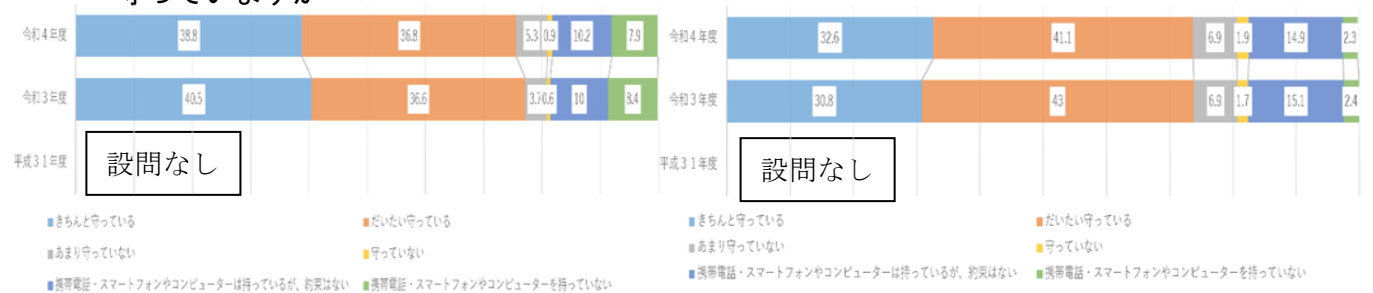
○ 学校に行くのは楽しいと思います



○ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



○ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



<調査結果のポイント>

- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」との質問に、肯定的に回答した児童・生徒の割合は小学校・中学校ともに高い傾向にある。
- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」との質問に、肯定的に回答した児童・生徒の割合は小学校・中学校ともに上昇傾向にある。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」との質問に、肯定的に回答した児童・生徒の割合は小学校・中学校ともに上昇傾向にある。
- 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」との質問に、「きちんと守っている」と回答した児童・生徒の割合は小学校で下降、中学校で上昇傾向にある。

- 5 「児童・生徒質問紙調査一覧」

◆ 「児童質問紙」

質問 番号	質問事項
(1)	朝食を毎日食べていますか
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
(4)	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
(5)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか
(6)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）
(7)	自分には、よいところがあると思いますか
(8)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
(9)	将来の夢や目標を持っていますか
(10)	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか
(11)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか
(12)	人が困っているときは、進んで助けていますか
(13)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
(14)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
(16)	学校に行くのは楽しいと思いますか
(17)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
(18)	友達と協力するのは楽しいと思いますか
(19)	家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか (複数選択)
(20)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）
(21)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
(22)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
(24)	あなたの家には、おおよそどれくらい本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）
(25)	新聞を読んでいますか
(26)	読書は好きですか
(27)	自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか

(28)	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事の先生は除く)
(29)	今住んでいる地域の行事に参加していますか
(30)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
(31)	放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか(複数選択)
(32)	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使いましたか
(33)	学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(インターネット検索など)
(34)	学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか
(35)	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか
(36)	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
(37)	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか
(38)	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
(39)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
(40)	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
(41)	5年生までに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか
(42)	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
(43)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
(44)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
(45)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
(46)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
(47)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
(48)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
(49)	国語の勉強は好きですか
(50)	国語の勉強は大切だと思いますか
(51)	国語の授業の内容はよく分かりますか
(52)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
(53)	算数の勉強は好きですか
(54)	算数の勉強は大切だと思いますか

(55)	算数の授業の内容はよく分かりますか
(56)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
(57)	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか
(58)	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか
(59)	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか
(60)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか
(61)	理科の勉強は好きですか
(62)	理科の勉強は大切だと思いますか
(63)	理科の授業の内容はよく分かりますか
(64)	理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか
(65)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
(66)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか
(67)	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか
(68)	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか
(69)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか
(国1)	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
(国2)	解答時間は十分でしたか(45分)
(算1)	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
(算2)	解答時間は十分でしたか(45分)
(理1)	今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
(理2)	解答時間は十分でしたか(45分)

◆「生徒質問紙」

質問 番号	質問事項
(1)	朝食を毎日食べていますか
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
(4)	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
(5)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか
(6)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）
(7)	自分には、よいところがあると思いますか
(8)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
(9)	将来の夢や目標を持っていますか
(10)	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか
(11)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか
(12)	人が困っているときは、進んで助けていますか
(13)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
(14)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
(15)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
(16)	学校に行くのは楽しいと思いますか
(17)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
(18)	友達と協力するのは楽しいと思いますか
(19)	家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか（複数選択）
(20)	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）
(21)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
(22)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
(24)	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）
(25)	新聞を読んでいますか
(26)	読書は好きですか
(27)	自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか
(28)	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか（習い事の先生は除く）
(29)	今住んでいる地域の行事に参加していますか
(30)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
(31)	放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか（複数選択）

(32)	1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
(33)	学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）
(34)	学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか
(35)	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか
(36)	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
(37)	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか
(38)	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
(39)	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
(40)	1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
(41)	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか
(42)	1, 2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
(43)	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
(44)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
(45)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
(46)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
(47)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
(48)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
(49)	国語の勉強は好きですか
(50)	国語の勉強は大切だと思いますか
(51)	国語の授業の内容はよく分かりますか
(52)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
(53)	数学の勉強は好きですか
(54)	数学の勉強は大切だと思いますか
(55)	数学の授業の内容はよく分かりますか
(56)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
(57)	数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか
(58)	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか
(59)	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか

(60)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか
(61)	理科の勉強は好きですか
(62)	理科の勉強は大切だと思いますか
(63)	理科の授業の内容はよく分かりますか
(64)	理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか
(65)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
(66)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか
(67)	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか
(68)	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか
(69)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか
(国1)	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
(国2)	解答時間は十分でしたか(50分)
(算1)	今回の数学の問題では、言葉や数、式を使って、説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
(算2)	解答時間は十分でしたか(50分)
(理1)	今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか
(理2)	解答時間は十分でしたか(50分)

4 クロス集計結果から

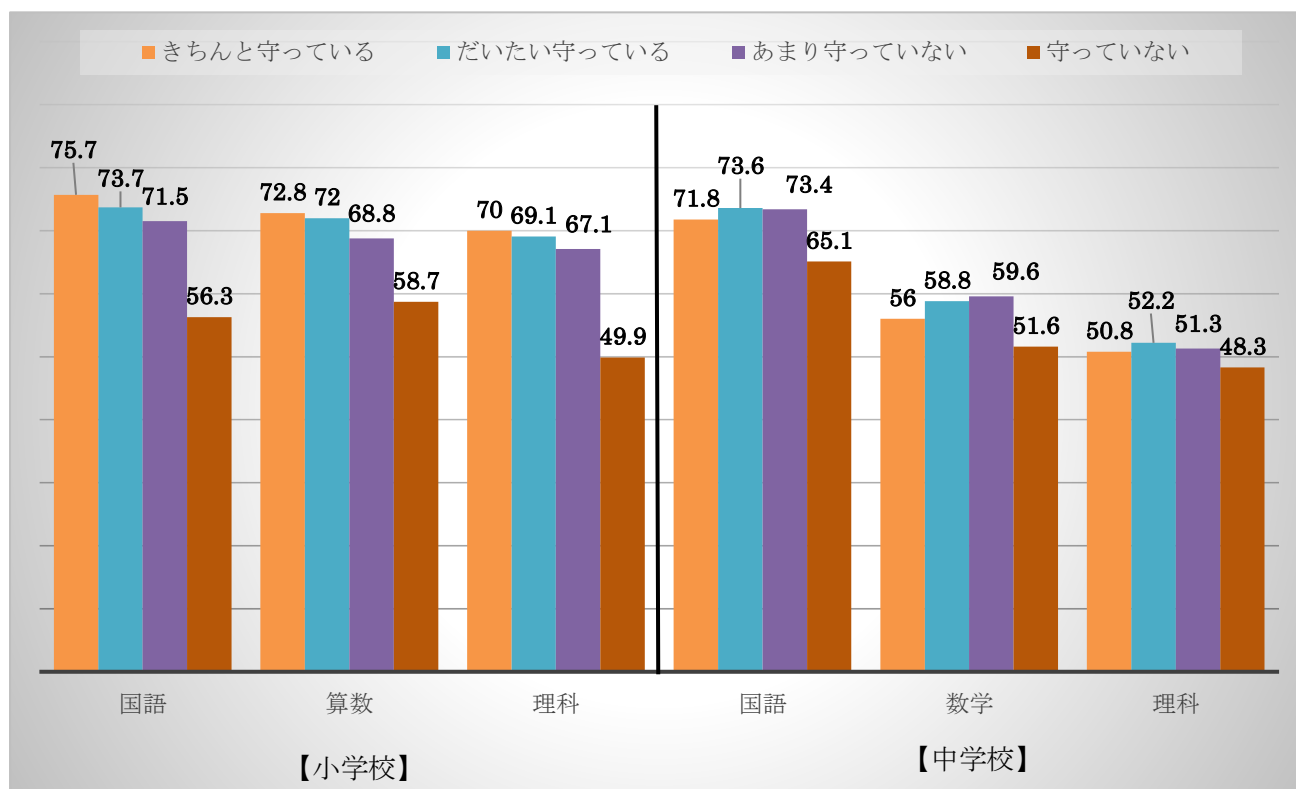
(4) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

<児童が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢		児童数の割合(%)	平均正答率(%)		
			国語 (14問)	算数 (16問)	理科 (17問)
1	きちんと守っている	38.8	75.7	72.8	70.0
2	だいたい守っている	36.8	73.7	72.0	69.1
3	あまり守っていない	5.3	71.5	68.8	67.1
4	守っていない	0.9	56.3	58.7	49.9

<生徒が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢		生徒数の割合(%)	平均正答率(%)		
			国語 (14問)	数学 (14問)	理科 (21問)
1	よくしている	18.6	76.3	64.5	54.8
2	ときどきしている	44.6	72.3	56.0	50.3
3	あまりしていない	26.8	71.1	55.7	51.1
4	全くしていない	9.8	67.5	51.8	49.1



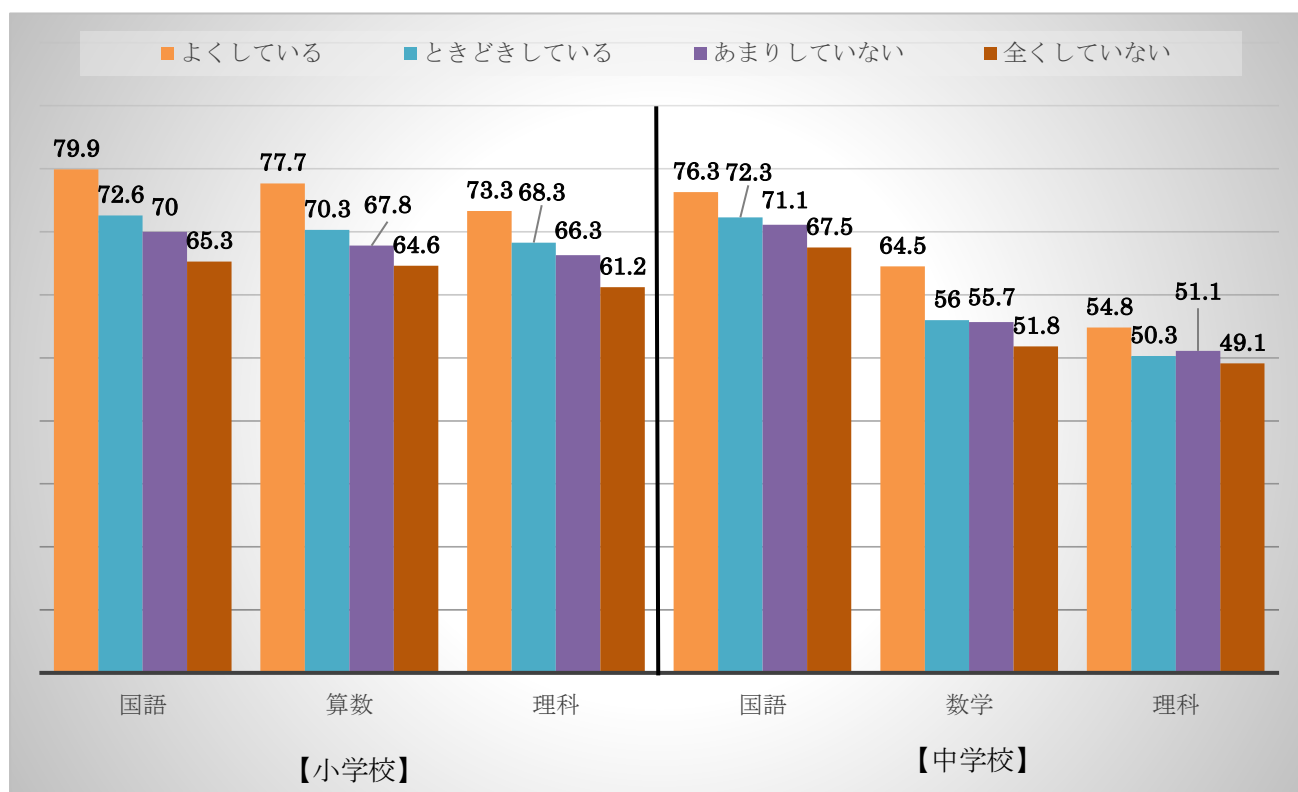
(20) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)

<児童が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢		児童数の割合(%)	平均正答率(%)		
			国語 (14問)	算数 (16問)	理科 (17問)
1	よくしている	36.9	79.9	77.7	73.3
2	ときどきしている	38.6	72.6	70.3	68.3
3	あまりしていない	18.6	70.0	67.8	66.3
4	全くしていない	5.7	65.3	64.6	61.2

<生徒が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢		生徒数の割合(%)	平均正答率(%)		
			国語 (14問)	数学 (14問)	理科 (21問)
1	よくしている	18.6	76.3	64.5	54.8
2	ときどきしている	44.6	72.3	56.0	50.3
3	あまりしていない	26.8	71.1	55.7	51.1
4	全くしていない	9.8	67.5	51.8	49.1



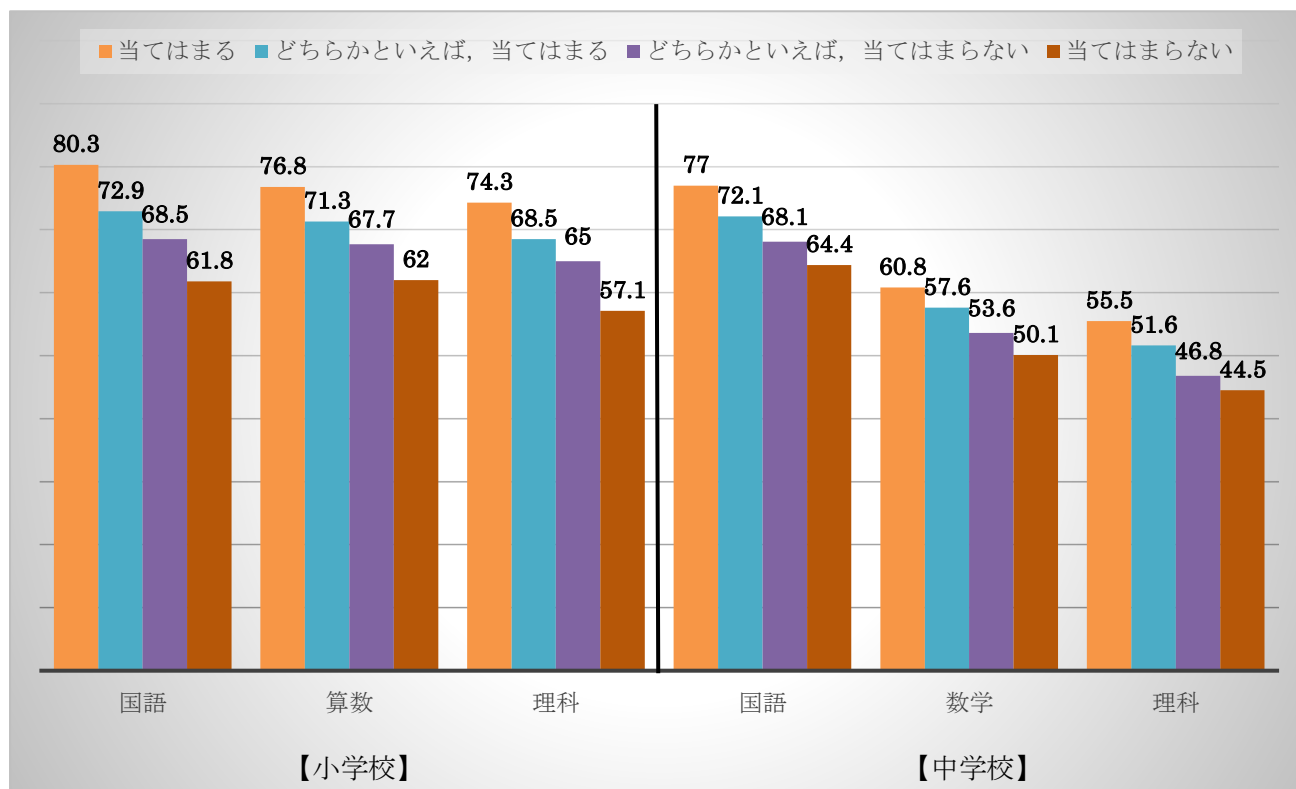
(26) 読書は好きですか

<児童が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢	児童数の割合(%)	平均正答率(%)		
		国語 (14問)	算数 (16問)	理科 (17問)
1 当てはまる	44.7	80.3	76.8	74.3
2 どちらかといえば、 当てはまる	28.4	72.9	71.3	68.5
3 どちらかといえば、 当てはまらない	16.7	68.5	67.7	65.0
4 当てはまらない	9.8	61.8	62.0	57.1

<生徒が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢	生徒数の割合(%)	平均正答率(%)		
		国語 (14問)	数学 (14問)	理科 (21問)
1 当てはまる	37.7	77.0	60.8	55.5
2 どちらかといえば、 当てはまる	31.0	72.1	57.6	51.6
3 どちらかといえば、 当てはまらない	18.9	68.1	53.6	46.8
4 当てはまらない	12.2	64.4	50.1	44.5



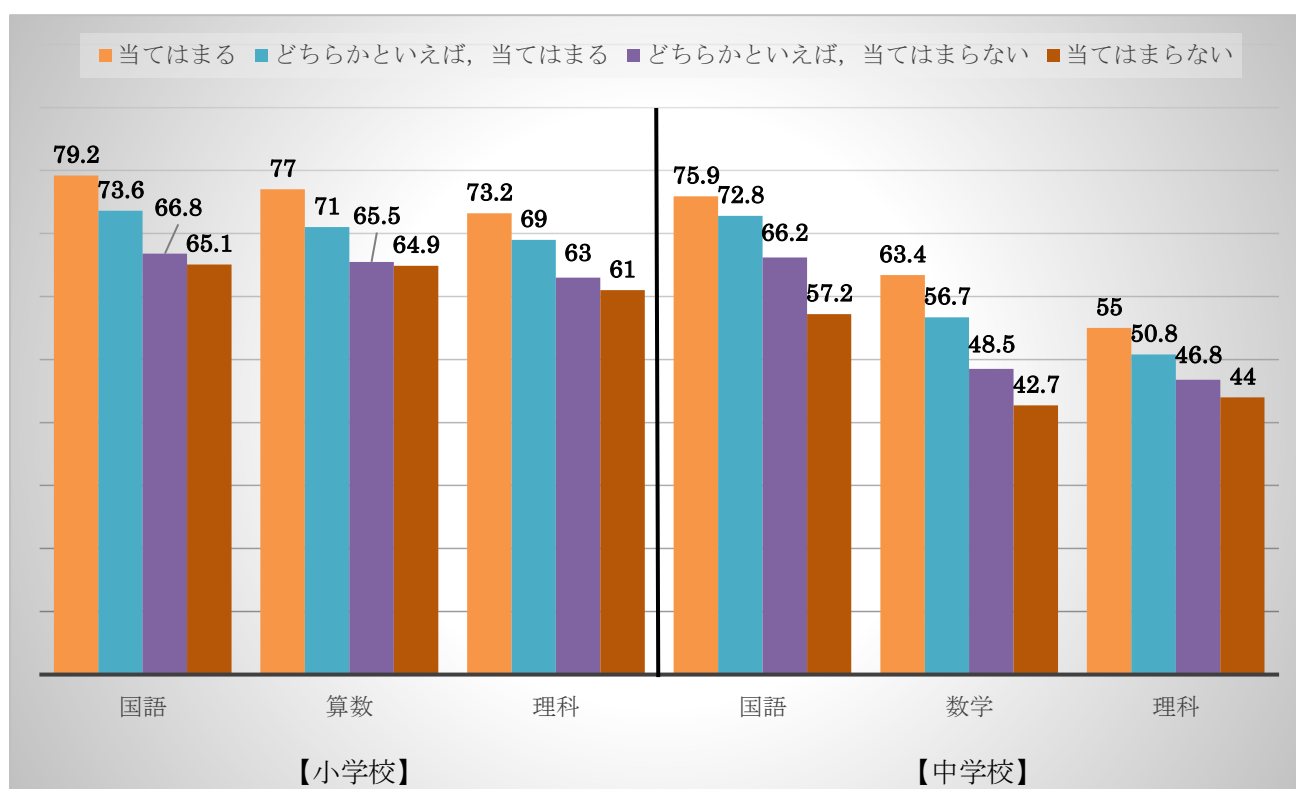
(44) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

<児童が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢		児童数の割合(%)	平均正答率(%)		
			国語 (14問)	算数 (16問)	理科 (17問)
1	当てはまる	39.2	79.2	77.0	73.2
2	どちらかといえば、 当てはまる	41.6	73.6	71.0	69.0
3	どちらかといえば、 当てはまらない	14.3	66.8	65.5	63.0
4	当てはまらない	4.5	65.1	64.9	61.0

<生徒が回答した選択肢別の平均正答率>

選択肢		生徒数の割合(%)	平均正答率(%)		
			国語 (14問)	数学 (14問)	理科 (21問)
1	当てはまる	31.9	75.9	63.4	55.0
2	どちらかといえば、 当てはまる	48.7	72.8	56.7	50.8
3	どちらかといえば、 当てはまらない	15.9	66.2	48.5	46.8
4	当てはまらない	3.1	57.2	42.7	44.0



参 考 资 料

3

鳥谷さんの学級では、「六年生としてがんばりたいこと」を書くことにしました。次は、鳥谷さんが最初に書いた【文章1】と書き直した【文章2】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章1】

わたしは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をろくがして、各学級にしようかいしたという活動がすばらしいと思いました。

この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会で自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをはんせいしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

【文章2】

わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。

そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思ったからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をろくがして、各学級にしようかいしたそうです。

この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会で自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをはんせいしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

一 鳥谷さんは、「文章2」の の部分をどのようなことに気をつけて書いていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 自分の考えが明確に伝わるように、自分の考えを最初に書いている。
- 2 自分の考えが明確に伝わるように、引用することで、書き出しをくふうしている。
- 3 他の人が読みやすいように、事実と感想とを区別して、書き出しを書いている。
- 4 他の人が読みやすいように、自分の考えとその理由を最初に書いている。

三 鳥谷さんは、「文章2」を読み、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。

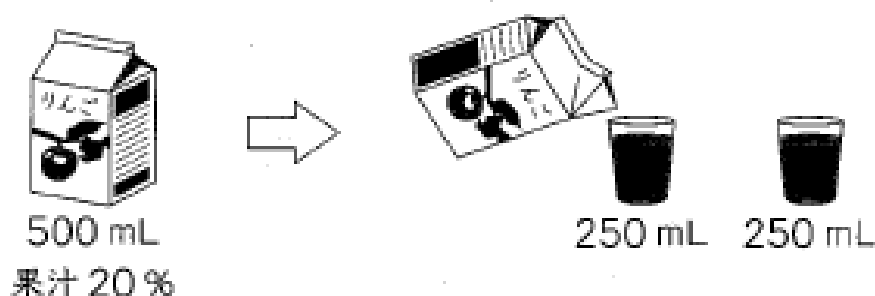
次の——部ウを漢字でていねいに書きましよう。

運動が苦手な人も ウ したしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びや
 ボールゲームを各学級にしようかいたしたいです。

2

果汁入りの飲み物について考えます。

- (3) リんごの果汁が 20%ふくまれている飲み物が 500 mL あります。
この飲み物を 2 人で等しく分けると、1 人分は 250 mL になります。



250 mL の飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250 mL は、500 mL の $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、

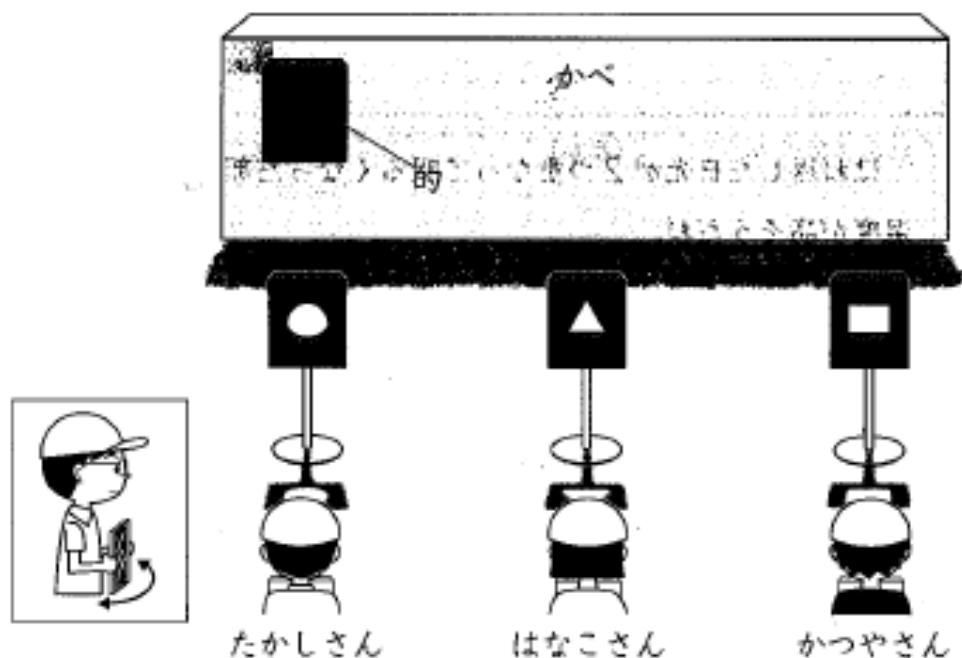
ア

上のアにあてはまる文を、下の 1 から 3 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は 2 倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

3

たかしさんたちは、晴れた日に科学クラブで、同じ大きさの鏡を使い、日光をはね返して、^{まに}的あてゲームをしました。



上の図のように、3人とかべの間に、それぞれ、円形、三角形、四角形に切りぬいた、鏡と同じ大きさの段ボールの板を置きました。

(1) 3人が上の図の位置で鏡の向きを変え、それぞれが日光をはね返して、3つの段ボールの板にあてたときに、かべの左にある的に、三角形の光をあてることができるのはだれですか。下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 たかしさん
- 2 はなこさん
- 3 かつやさん
- 4 全員

4

竹内さんは、行書で「夢と希望」という文字を書いています。次の【最初に書いた文字】、【書き直した文字】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【最初に書いた文字】



【友達や先生からの助言】

行書の点圓の書き方に気を付けて書いてみましたが、どうでしょうか。



竹内さん

全体的に行書の特徴を踏まえて書くことができていると思います。ただ、漢字のバランスが悪いような気がします。先生、どうでしょうか。



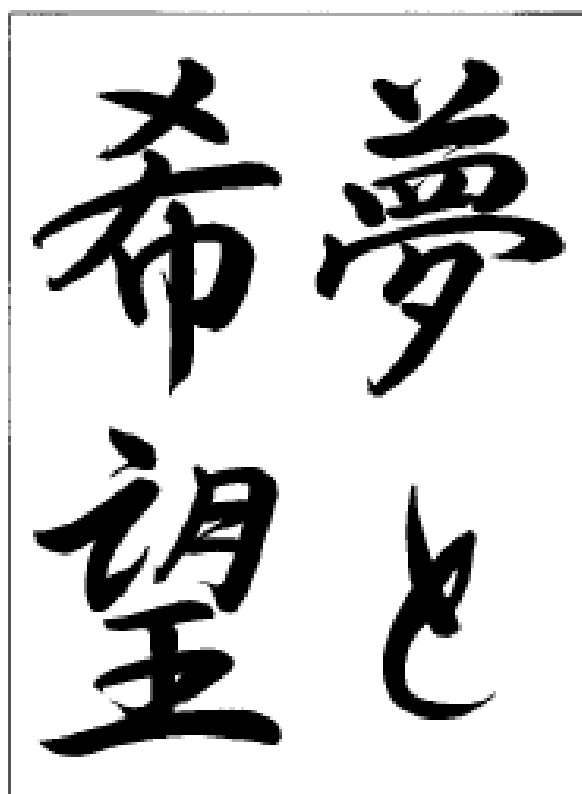
青山さん

漢字については青山さんの言うとおりですが、ひらがなの「と」についても課題がありそうですね。



先生

【書き直した文字】

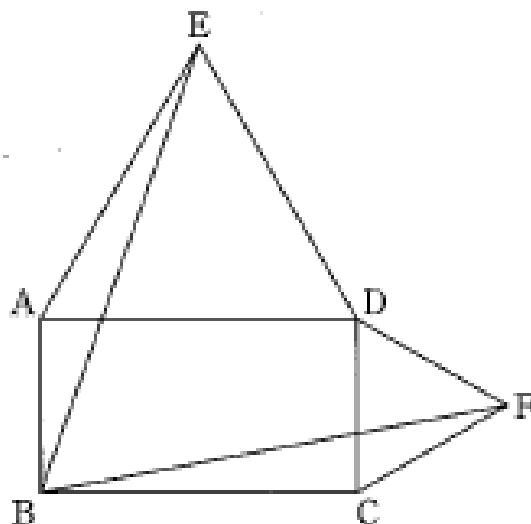


「最初に書いた文字」について、青山さんは「行書の特徴を踏まえて書くことができています」と述べていますが、その具体的な内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 ㉔の部分は、筆順の変化に気を付けて書くことができています。
- 2 ㉕の部分は、楷書と同様に点画を直線的に書くことができています。
- 3 ㉖の部分は、点画を省略して書くことができています。
- 4 ㉗の部分は、点画を連続して書くことができています。

- 9 次の図1は、長方形ABCDの外側に辺AD、DCを1辺とする正三角形ADE、DCFをかき、点Eと点B、点Bと点Fを結んだものです。

図1



琴音さんは、線分EBと線分BFについて次のことを予想しました。

予想

長方形ABCDの外側に辺AD、DCを1辺とする正三角形ADE、DCFがあるとき、 $EB = BF$ になる。

(2) 琴音さんは、次の図2や図3のように、21ページの図1の長方形ABCDの辺の長さをいろいろに変えた図をかきました。このときも、 $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ が成り立つので、 $EB = BF$ がいえます。琴音さんは、 $EB = BF$ 以外にも、辺や角についていえることがないか調べました。

図2

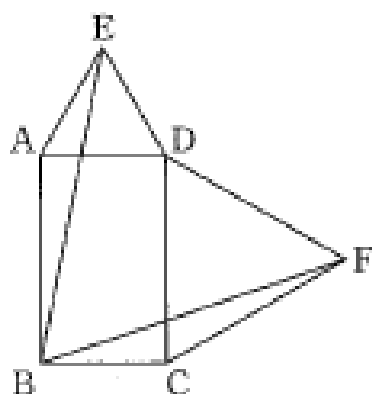
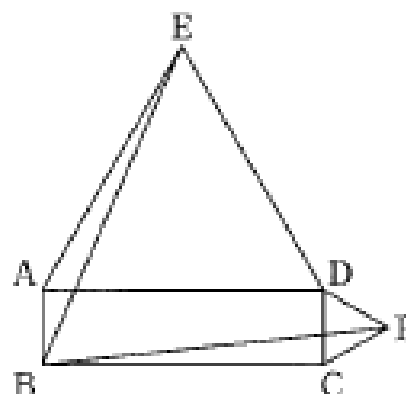


図3

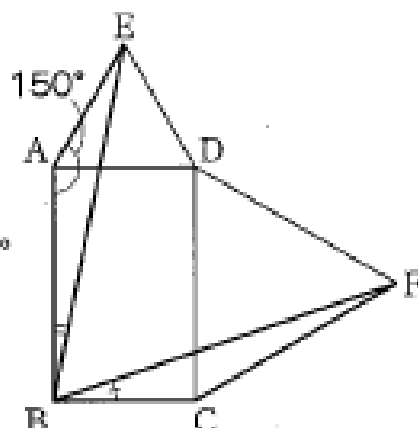


調べたことから、琴音さんは、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になると予想し、次のように考えました。

琴音さんの考え

① $\angle EBF$ について、
 $\angle ABC = 90^\circ$ より、
 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ がいえれば、
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ$ となり、
 $\angle EBF$ が 60° になることがいえる。

② $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることは、 $\triangle ABE \equiv \triangle CFB$ からわかる等しい角と、
 $\angle EAB = 150^\circ$ を用いて示すことができる。



$\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ を示すことで、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることが説明できます。琴音さんの考えの②にある $\triangle ABE \cong \triangle CFB$ と $\angle EAB = 150^\circ$ はすでにわかっていることとして、 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることを下の説明の□に示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成しなさい。

説明

$\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることが示せたので、
 $\angle EBF = 90^\circ - (\angle ABE + \angle CBF)$ より、
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ = 60^\circ$ になる。

中学校 理科 <5 (1)>

5 ばねを押すとき、加える力の大きさとばねが縮む長さの関係について、理科の授業で科学的に探究しました。

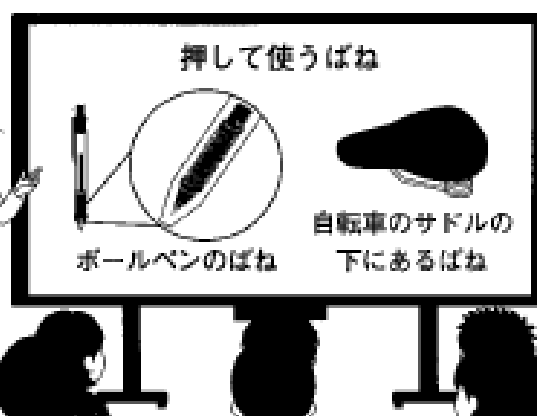
(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

押して使うばねを探究する場面

ばねののびは、加える力の大きさと比例の関係がありました。

ばねは、生活の中で押して使うことが多いですね。

ばねを押すときも、比例の関係が成り立つのかな。



ノートの一部

【課題】

ばねが縮む長さは、加える力の大きさに比例するか。

【実験の計画】

図1の装置をつくり、ばねに加える力の大きさを変化させたときのばねの長さを3回測定して平均をとり、ばねが縮む長さを計算してグラフに表す。

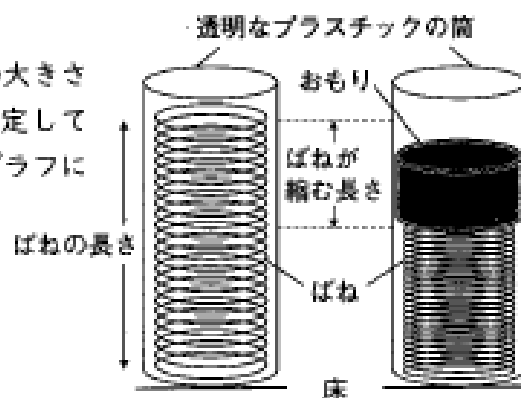


図1

【実験の結果】

力の大きさ(N)	0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
ばねの長さ(cm)	10.0	8.0	6.0	4.0	4.0	4.0
縮む長さ(cm)	0	2.0	4.0	6.0	6.0	6.0

【考察】

.....

(1) 図2のように、ばねにのせたおもりが静止したとき、矢印で表したおもりにはたらく重力とつり合う力を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

また、選んだ力の説明として適切なものを、下の力からケまでの中から1つ選びなさい。

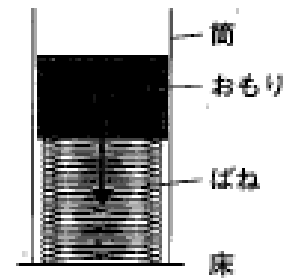
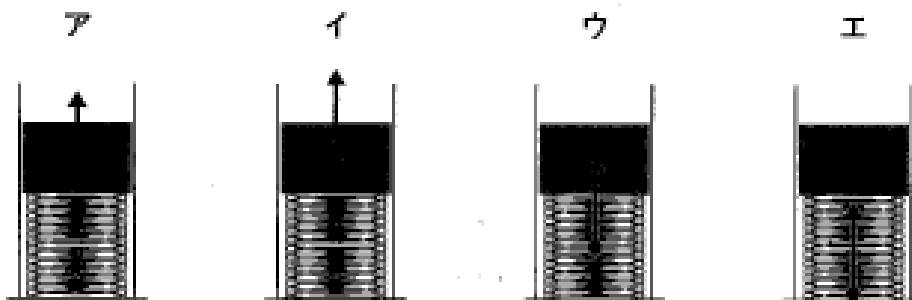


図2 おもりにはたらく重力



カ おもりがばねを押す力

キ ばねがおもりを押す力

ク おもりが床を押す力

ケ 床がおもりを支える力

